

第2期千葉市スポーツ推進計画（案）

目次

01 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	2
2 計画の位置付け	3
3 計画の期間	3
4 本計画が対象とするスポーツの範囲	4
02 本市を取り巻くスポーツに関する現況	5
1 国や県における動向	6
(1) 国の動向	6
(2) 千葉県の動向	7
2 本市における動向	8
(1) 本市の特性	8
(2) スポーツに関する取組	9
(3) 主な現況	11
03 めざす姿	20
1 将来像と基本方針	21
(1) 将来像	21
(2) 基本方針	22
04 目標達成に向けた施策展開	26
1 施策体系	27
2 施策の整理	29
基本方針 1 みんな誰もがスポーツを楽しめるまち	29
基本方針 2 スポーツをはぐくむまち	31
基本方針 3 スポーツを中心につながるまち	34
3 施策	36
基本方針 1 みんな誰もがスポーツを楽しめるまち	36
基本方針 2 スポーツをはぐくむまち	39
基本方針 3 スポーツを中心につながるまち	43

05 計画の推進にあたって	49
1 成果指標	50
(1) 成果指標・目標値	50
(2) 成果指標の考え方	50
2 推進体制	51
(1) 他分野との横断的な取組	51
(2) 国や県との整合性	51
(3) 関係団体との連携	51
3 進行管理	51
資料編	53
1 市内スポーツ施設	54
2 スポーツ推進審議会	58
(1) 委員名簿	58
3 事業概要	59
施策 1 - 1 誰もがスポーツに親しめる場をつくる	59
施策 1 - 2 誰もがそれぞれのトップレベルを目指せる環境をつくる	60
施策 1 - 3 誰もがスポーツを続けられるための安全や安心をつくる	61
施策 2 - 1 誰もがスポーツに親しめる機会をつくる	62
施策 2 - 2 スポーツの未来を紡ぐ	64
施策 2 - 3 スポーツ活動を支える組織・人材の支援と、活躍の機会づくりを進める	66
施策 3 - 1 スポーツにより市民が健康とつながる	68
施策 3 - 2 スポーツにより多様な立場の市民がつながる	68
施策 3 - 3 スポーツが地域の活性化につながる	70
4 アンケート調査	71
(1) 調査要綱および実施概要	71
(2) 総括	72

01 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

千葉市では、平成 28 年 3 月に策定した「千葉市スポーツ推進計画」及び令和 3 年度からの改訂計画に基づき、「みんなが主役、元気でいきいき、スポーツ都市千葉の実現～スポーツ・レクリエーションを通じて新たな自分を発見しよう～」を基本理念に掲げ、スポーツを「する・みる・ささえる・ふれあう」人を増やすことを目標に、スポーツ振興に市を挙げて取り組んでまいりました。

先の計画期間においては、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行という未曾有の事態を経験し、市民生活やスポーツ活動にも大きな影響が及ぼしました。そのような状況下においても、私たちは「新しい生活様式」に対応したスポーツ活動の推進や、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承したパラスポーツの振興など、時代に応じた施策を展開してまいりました。

また近年、国においては、スポーツの成長産業化が重要な政策課題として位置づけられ、関係省庁において、スポーツ市場規模を 2025 年までに 15 兆円に拡大することを目標に掲げています。スポーツは競技や興行に留まらず、観光、飲食、物販など多様な産業と連携し、大きな経済波及効果を生み出す可能性を有しており、本市としても近年の X Games やバレーボールネーションズリーグの開催により、その可能性を強く実感しています。

特にスポーツ実施のみならず、スポーツ観戦も、観戦者の健康増進やウェルビーイングの向上に寄与し、応援するチームや選手との心理的な結びつきは、人々に夢や感動を与えるとともに、地域への誇りと愛着の醸成につながります。こうしたスポーツの経済的価値と社会的価値を最大限に活かし、地域全体の活性化につなげていくことが求められていると言えます。

今般、デジタル技術の進展はスポーツの楽しみ方や関わり方を多様化させ、持続可能な社会の実現に向けた意識の高まりは、スポーツを通じた地域社会への貢献や環境配慮の重要性を一層際立たせています。

また、市民一人ひとりのウェルビーイング（心身の良好な状態）の追求が、社会全体の活力向上に不可欠であるとの認識も深まっています。

本計画では、スポーツを「する・みる・ささえる・ふれあう」人を増やすという目標は継続し、これまでの成果と課題、そしてこれらの社会情勢の変化や新たな時代の潮流を的確に捉え、多様な主体との連携・共創による地域スポーツの活性化、そして生涯にわたるスポーツ活動を通じた市民の心豊かな生活の実現を目指します。

障害の有無、年齢、性別、国籍、競技レベル、ライフステージ等に関わらず、多様な「みんな」がスポーツの価値を享受し、「スポーツでみんなとまちの元気をはぐくむ」ことを目指し、市民の皆様、関係団体各位との連携を一層強化し、実効性のある施策を着実に推進するために本計画を策定します。

2 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法に基づき、国のスポーツ基本計画を参照し、本市の最上位計画である千葉市基本計画との整合を図り、スポーツ行政のビジョンと方向性を示すものです。また、本市の各分野における関連計画との連携を図ります。



3 計画の期間

令和8（2026）年を始期とした10年間の計画とします。なお、具体的な取組や数値目標は令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間を対象とし、5年経過時にはその時点での進捗状況や社会情勢の変化に応じて、必要な見直しを行うものとします。

4 本計画が対象とするスポーツの範囲

本計画では、野球やバスケットボール、サッカーなどの競技種目やレクリエーション活動のほか、健康のための散歩や体操などの軽い運動、さらに徒歩や自転車による通勤や買い物などの日常生活における活動など、意識的・継続的に行う様々な身体活動のことを「スポーツ」として幅広く捉え、これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に親しんでいただくことを目指します。



02 本市を取り巻くスポーツに関する現況

1 国や県における動向

(1) 国の動向

第3期スポーツ基本計画の策定にあたり、新たに3つの視点を追加しています。

つくる／はぐくむ

既存の枠組みや考え方のみに捉われず、見直し・改善し、最も適切・有効な、個々の状況等に応じた方法やルールを考え出したり、創り出す

あつまり、ともに、つながる

様々な立場にある人々が「ともに」「つながり」を感じながらスポーツを楽しめる社会の実現を目指す

誰もがアクセスできる

年齢や性別、障害、経済的事情等によってスポーツを諦める、途中でやめることのない社会の実現を目指す

また、今後5年間において総合的かつ計画的に取り組む施策として以下を挙げています。

- ① 多様な主体におけるスポーツの機会創出
- ② スポーツ界におけるDX(注)の推進
- ③ スポーツによる健康増進
- ④ スポーツによる地方創生、まちづくり
- ⑤ スポーツを通じた共生社会の実現
- ⑥ スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」
- ⑦ スポーツを実施する者の安全・安心の確保 など

(2) 千葉県の動向

する」だけでなく、「みる」「ささえる」といった関わり方があります。さらに、「する・みる・ささえる」スポーツの基盤となる「スポーツを知る」という関わり方が、スポーツを推進する上で重要であると位置づけています。

■基本理念

「する・みる・ささえる」スポーツのさらなる推進～「知る」から広がる充実スポーツライフ～

■目指す姿

- 「知る」から広がる充実スポーツライフ
- 健康で活力ある生活の実現
- 互いに支え合うコミュニティの形成
- パラスポーツの充実・発展

■基本方針

- ① 子どもの体育・スポーツ活動の充実と体力の向上
- ② 人生を豊かにするスポーツの推進
- ③ 誰もがともに楽しめるパラスポーツの推進
- ④ スポーツ環境の整備・充実
- ⑤ 競技力の向上とクリーンでフェアなスポーツの推進
- ⑥ スポーツの価値の発信とスポーツによる地域づくり

2 本市における動向

(1) 本市の特性

本市は、市街地と緑豊かな内陸部が共存し、東京湾沿いには人工海浜が広がる一方、内陸には里山や肥沃な農地、河川が点在し、自然と都市が調和した環境を形成しています。

昭和 40 年代に急増した人口は、その後緩やかな増加を続けてきましたが、現在は高齢化が進行しており、2035 年には市民の約 3 人に 1 人が高齢者となる見通しです。一方で、年少人口および生産年齢人口は減少傾向にあります。



本市人口推計
出典：令和4年3月統計(千葉市)

また、千葉ロッテマリーンズ（野球）、ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）、ジェフユナイテッド市原・千葉レディース（女子プロサッカーチーム）、アルティーリ千葉（バスケットボール）、千葉ドット（バレーボールチーム）といったトップスポーツチームのホームタウンであり、市民がスポーツ観戦を通じてスポーツに親しむ機会に恵まれています。さらに、ZOZO マリンスタジアム、フクダ電子アリーナ、千葉ポートアリーナといった大規模スポーツ施設が整備されており、これまで多くの国際・全国規模のスポーツイベントが開催されてきました。これらの要素は、千葉市がスポーツに「ふれあう」きっかけや環境、資源に非常に恵まれた都市であることを示しています。

(2) スポーツに関する取組

本市ではこれまで前計画に掲げる、以下の施策に取り組んできました。

ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進 トップスポーツの推進 スポーツを「する人」を増やそう スポーツを「観る人」を増やそう



バレーボールネーションズリーグ 2025 千葉大会の様子

- 各種スポーツ教室の開催
- スポーツ・レクリエーション祭
- 地区体育祭
- 学校体育施設開放事業など

- ホームタウンの推進
- トップスポーツふれあい交流事業
- 国際的・全国的スポーツイベントの誘致など

スポーツ・レクリエーションを支える体制の整備

スポーツを「支える（育てる）人」を増やそう



千葉市スポーツ推進委員の活動

- 千葉市スポーツ推進委員連絡協議会の活動支援
- 千葉市スポーツ協会の活動支援
- 千葉市少年スポーツ連盟の活動支援
- 千葉市スポーツ少年団の活動支援

スポーツ・レクリエーションによる多様な交流の推進 スポーツに「ふれあう人」を増やそう



パラアスリート学校訪問の様子

- パラスポーツの普及啓発
- 障害者とのスポーツ交流の機会創出
- 障害者のスポーツ活動への参加促進
- パラスポーツ用具の貸し出し

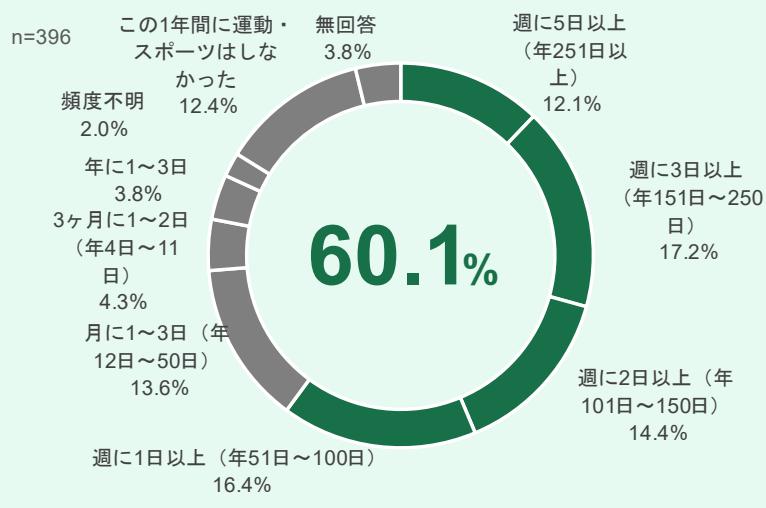
(3) 主な現況

ア するスポーツに関するデータ

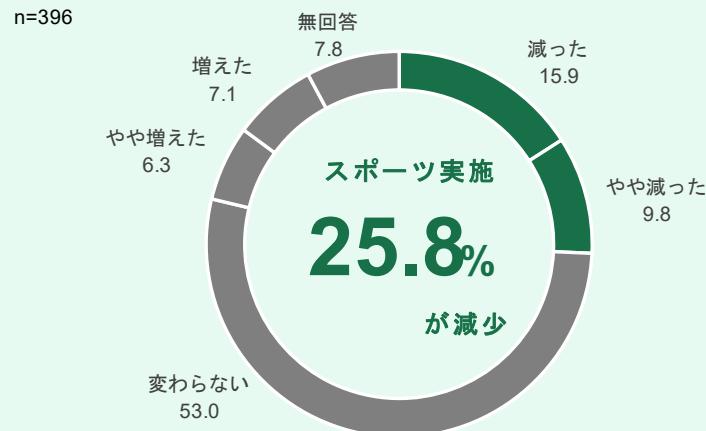
約6割の市民が週に1回以上スポーツを実施しており、国の目標水準70%と比べても大きな乖離はありません。令和元年度に実施した市民意識調査では、スポーツ実施率は65.5%であり、前回の計画時と比べても概ね同水準を維持しています。

コロナ禍前と実施頻度を比較して、半数以上が変わらないとしていますが、減少していると回答した市民も約3割程度います。

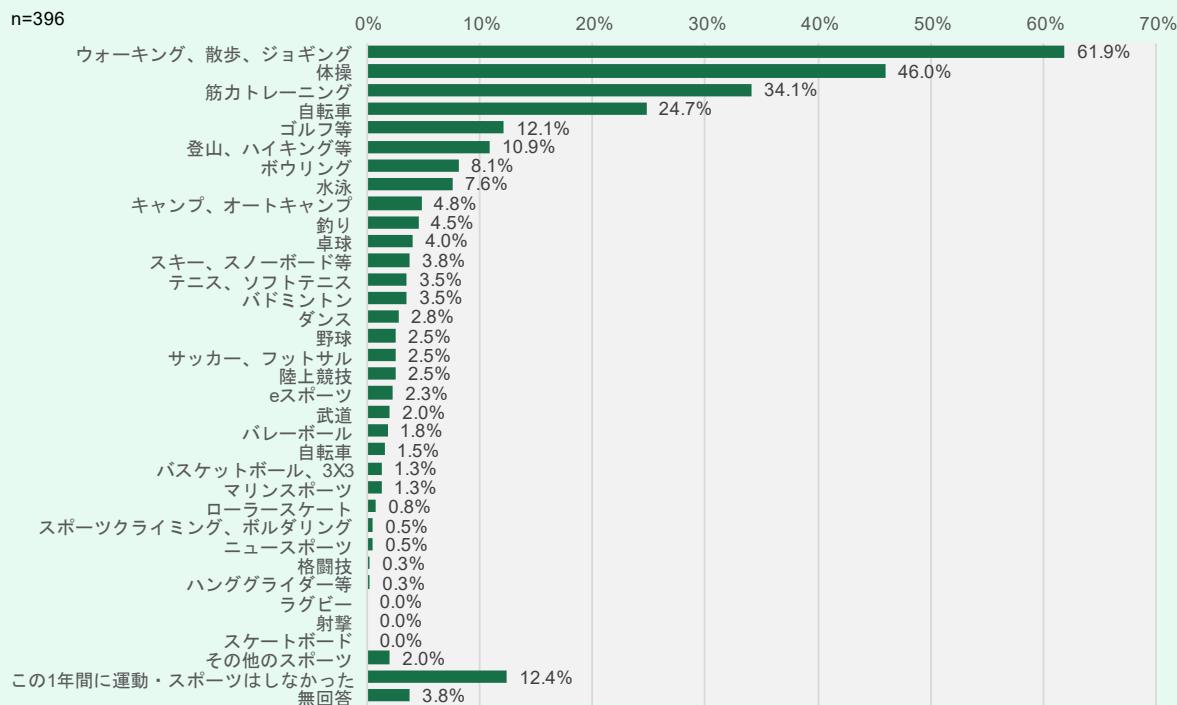
また、実施種目はウォーキング、筋力トレーニング、体操などの身近な運動が根強く、市民が日常の中で自然にスポーツに触れている様子がうかがえます。



出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）



出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）



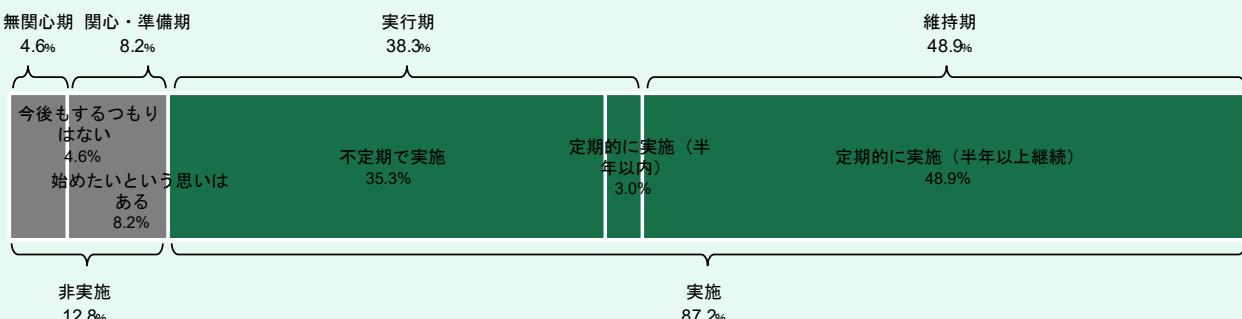
この1年間で行ったスポーツ

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）

スポーツの実施状況は維持期が 48.9%と最も多く、継続的にスポーツに取り組む市民が多数を占めています。一方で無関心期も約 13%存在します。

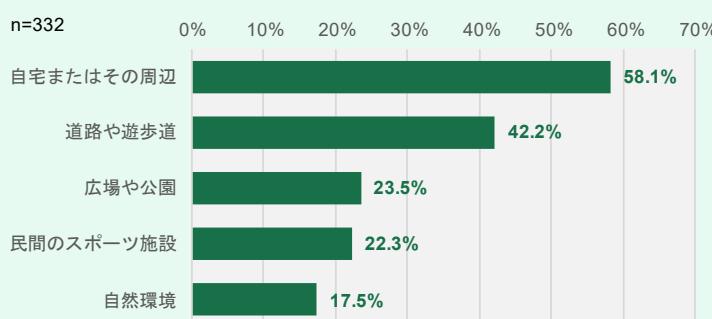
また、実施場所は、自宅またはその周辺が 58.1%で最多となり、アクセスの良さが重要視されています。

n=368



スポーツ実施状況の分布

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）



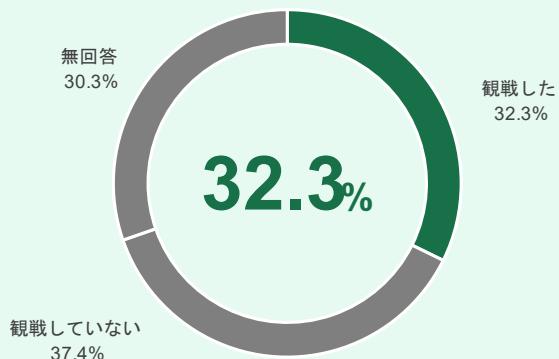
スポーツ実施場所

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）

イ みるスポーツに関するデータ

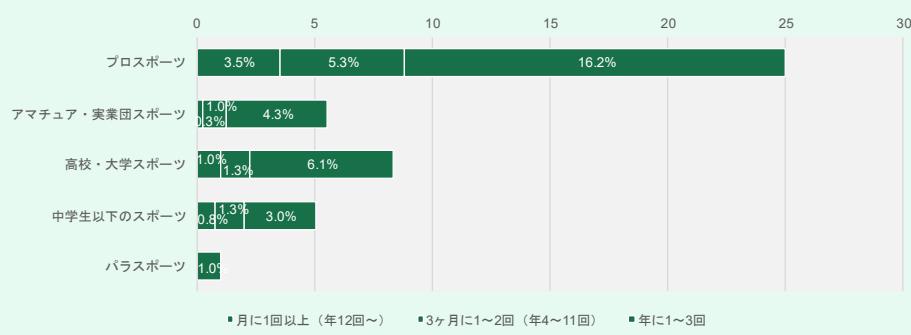
スポーツ現地観戦率は32.3%と1/3程度が観戦経験を有しており、令和元年度に実施した市民意識調査の結果32.7%から横ばいで推移しています。国の平均が26.4%であることを鑑みると、本市にはゆかりのプロスポーツチームも多く、観戦文化が一定程度浸透していると言えます。

n=396



本市スポーツ現地観戦率

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）

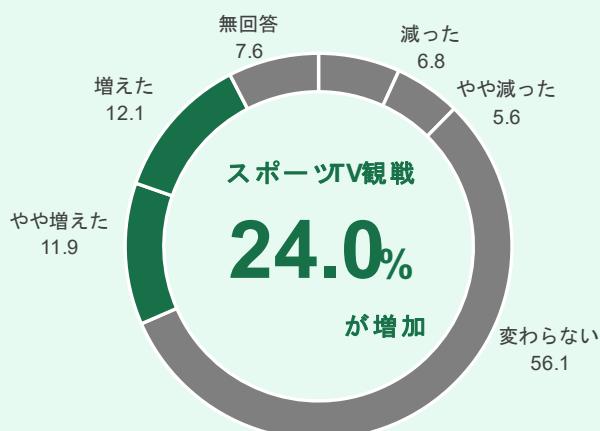


競技レベル別の観戦率

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）

一方で近年ではテレビ中継やWEB配信のチャネルの多様化も進んでおり、コロナ禍前と比較して、1/4程度の市民がテレビ等での観戦が増えたとしています。

n=396

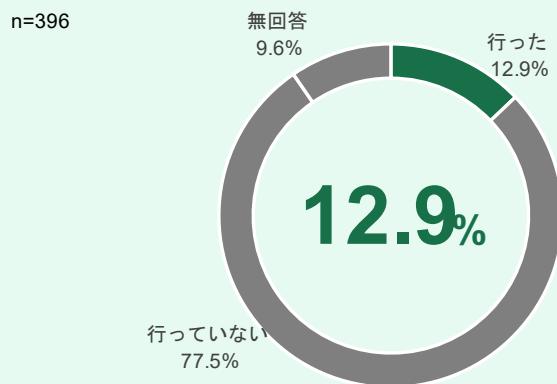


テレビ等での観戦傾向

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）

ウ ささえるスポーツに関するデータ

スポーツボランティア参画率は12.9%と全国平均が10.0%であることを鑑みると、やや高い水準にあります。また、令和元年度に実施した意識調査の結果4.5%から上昇が認められます。

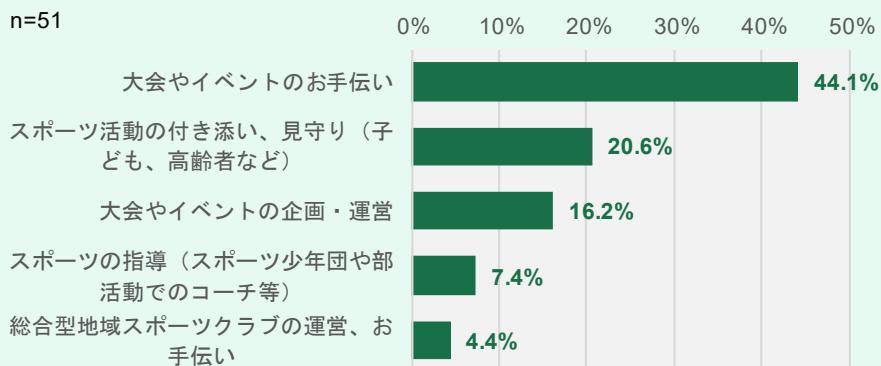


本市スポーツボランティア参画率

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）

関わったボランティアの形態では、大会やイベントのお手伝いが44.1%で最も多く、比較的参加しやすい形態での関与が主流です。

のことから、ボランティア参画率を高めるためには、大会やイベントの開催に際して、ボランティアが関わる機会を積極的に創出することが重要と言えます。

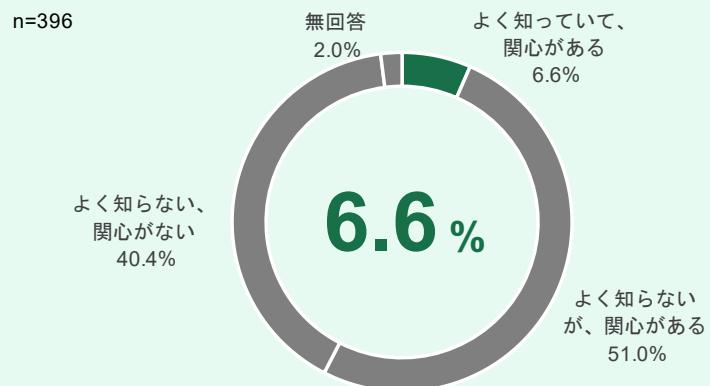


関与したボランティアの形態

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）

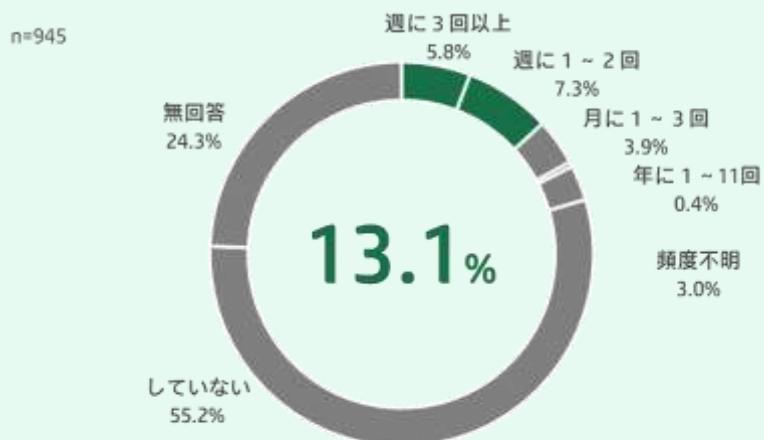
エ ふれあうスポーツに関するデータ

パラスポーツにおいては、認知度が依然として低く、また、障害者のスポーツ実施率も令和元年度に実施した実態調査の結果 17.3%から 4.2 ポイント低下し 13.1%と、全国平均の 32.8%に比べて低い水準にあります。



パラスポーツの認知度

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）



本市の障害者スポーツ実施率

出典：千葉市障害者計画等策定に係る実態調査（R4）

オ 子どものスポーツに関するデータ

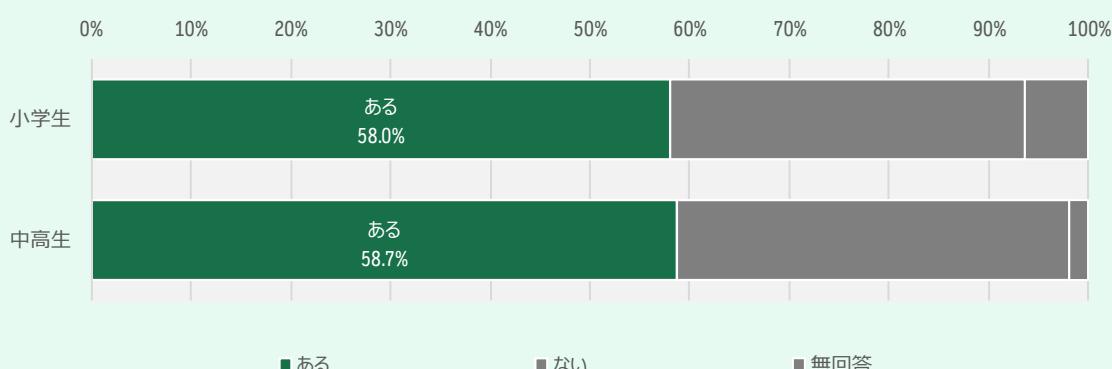
子どものスポーツ実施率は、小学生が 77.0%、中高生が 78.4%と小学生から高校生まで概ね同程度の水準です。内訳をみると、中高生がより高頻度層の割合が多く、運動部活動等への加入などスポーツ活動がより習慣化していることが窺えます。

観戦率も小中高で概ね同程度の水準です。



子どものスポーツ実施率（体育を除く）

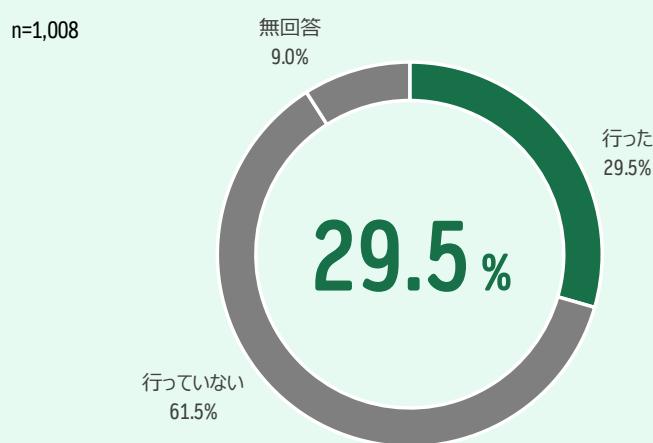
出典：千葉市の子どもたちのスポーツについてのアンケート調査（R6）



子どもの現地スポーツ観戦率

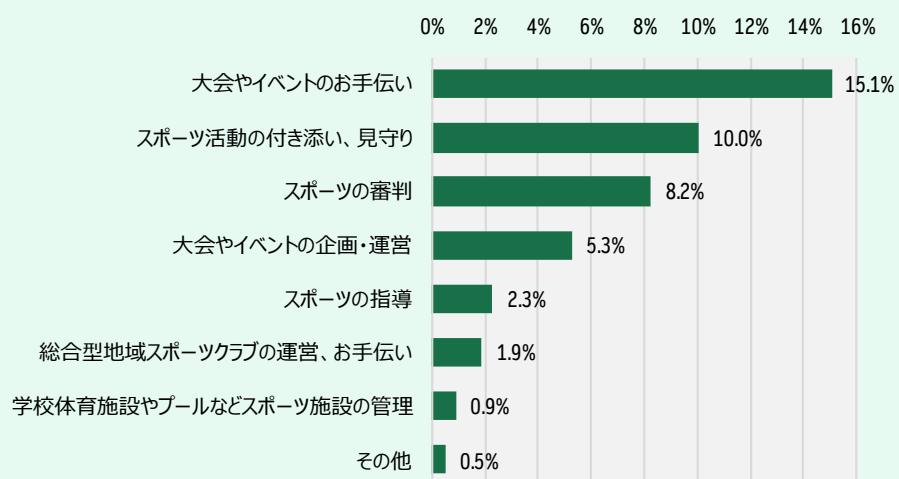
出典：千葉市の子どもたちのスポーツについてのアンケート調査（R6）

中高生のスポーツボランティア参画率は 29.5% で、大会やイベントのお手伝いが最も多く、大人との傾向の違いとしては、審判としての関与が上位となっています。



子ども（中高生）のスポーツボランティア参画率

出典：千葉市の子どもたちのスポーツについてのアンケート調査（R6）

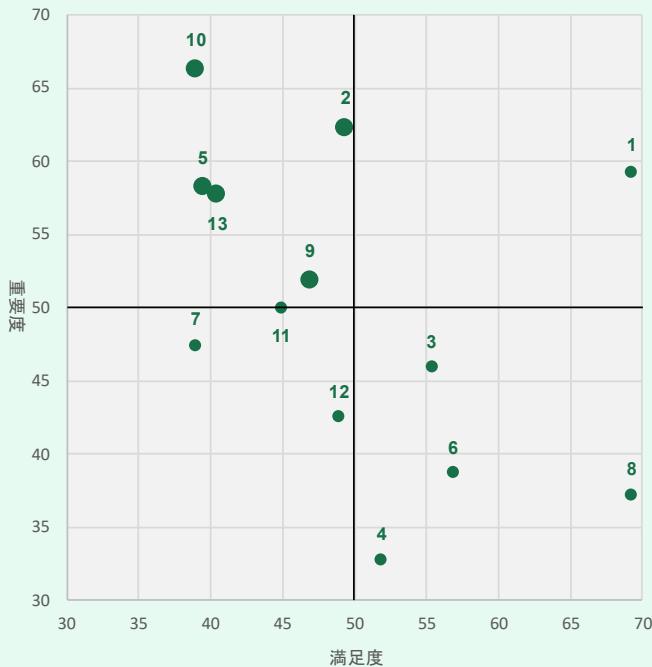


子ども（中高生）のスポーツボランティア参画率

出典：千葉市の子どもたちのスポーツについてのアンケート調査（R6）

力 現行計画の施策評価について

市民の関心が高く、さらなる充実が期待される「安全して活動できる環境づくり」「学校体育や運動部活動の充実」「スポーツを通じたまちづくり」といった施策は、これまでの取組を踏まえつつ、次期計画においても重点的に推進すべき重要な分野です。



1. スポーツへの関心喚起・参加機会づくり・市民参加型スポーツイベントの開催・競技の普及・啓発等
2. スポーツの習慣化に向けた環境づくり・地域スポーツ関係団体の育成・支援・スポーツ教室の開催・スポーツ施設などの場の充実及び効率的な管理運営等
3. 地域資源を活かしたスポーツ推進・地域資源を活かしたスポーツ大会の開催・支援等
4. 技術力の向上・スポーツ競技団体等との連携・教育・文化・スポーツ等功労者褒賞等
5. 学校体育や運動部活動の充実・体育指導の充実・学校体育・運動部活動における指導者等の派遣等
6. トップチームとの連携・トップスポーツとの連携による地域貢献活動等
7. 観戦機会づくりや機運醸成・国際的・全国的な競技大会の開催・誘致・積極的な情報の発信等
8. 東京オリンピック・パラリンピックの成功・スポーツ文化を普及・発展させる取組等
9. スポーツ団体・指導者の育成・スポーツ団体の活動支援・指導者の育成・確保等
10. 安心して活動できる環境づくり・スポーツ障害などの予防の啓発・スポーツ医・科学の活用等
11. パラスポーツの推進・障害者スポーツ大会の開催・支援・障害者スポーツ指導員の育成等
12. スポーツを通じた国際交流・オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会を通じた国際交流の推進等
13. スポーツを通じたまちづくり・地区スポーツイベントの開催・支援等

現行計画掲載施策に対する重要度・満足度

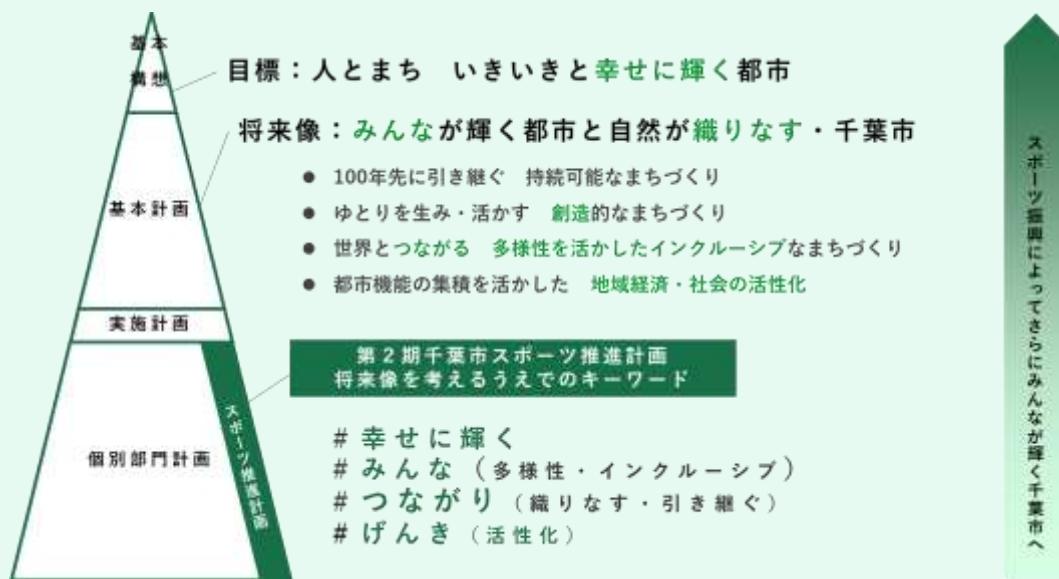
出典：千葉市の子どもたちのスポーツについてのアンケート調査（R6）

03 めざす姿

1 将来像と基本方針

(1) 将来像

本市では、基本構想における目標として「人とまち いきいきと幸せに輝く都市」を掲げ、基本計画において 2032 年度までに目指すべき姿として「みんなが輝く都市と自然が織りなす・千葉市」を定めています。本計画は基本構想や基本計画を上位とした個別部門計画であり、基本構想や基本計画で掲げる目標や将来像の実現にスポーツ振興からアプローチするものである必要があります。



スポーツは、人の健康を支え、絆を深め、地域を活性化し、まち全体に元気をもたらす力を持っています。

この力を最大限に活かすためには、年齢、障害の有無、運動能力にかかわらず、すべての人があなたが多様な形でスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりが必要です。

千葉市は、誰もが多様なカタチでスポーツを通じてつながり、しあわせを感じられる「インクルーシブなスポーツ都市」を目指し、みんなとともに、人もまちも元気になる未来を築いていきます。

～スポーツでみんなとまちの元気をはぐくむ！～

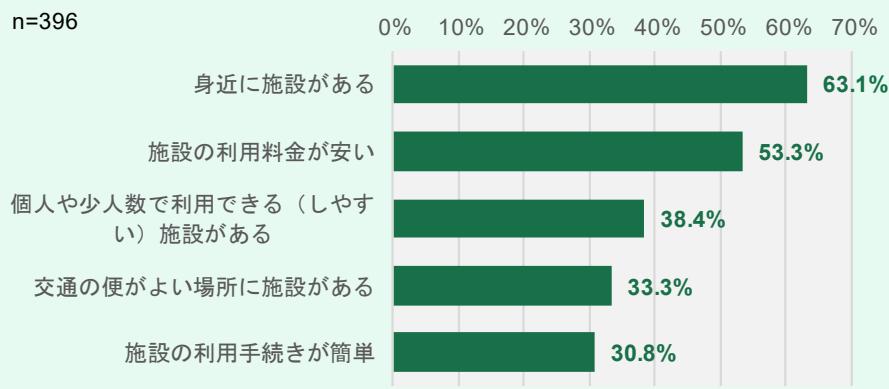
(2) 基本方針

■ 基本方針 1 みんな誰もがスポーツを楽しめるまち

「みんな誰もが」という言葉には、文字通り、年齢、障害の有無、国籍、運動経験、経済状況やライフステージに関わらず、市民一人ひとりが、誰一人として取り残されることなく、それぞれの形でスポーツの持つ本質的な喜びや素晴らしさを心から享受できる社会を実現することを目指します。

「するスポーツ」を習慣化し、誰もが継続的に楽しめるようにするために、公共スポーツ施設の利用しやすさやICTの活用、既存資源の有効活用による環境整備を進めます。

また、若者が夢や目標に挑戦できる環境を整え、誰もが安心してスポーツを続けられるよう支援体制を充実させます。



スポーツ実施・習慣化に必要な条件

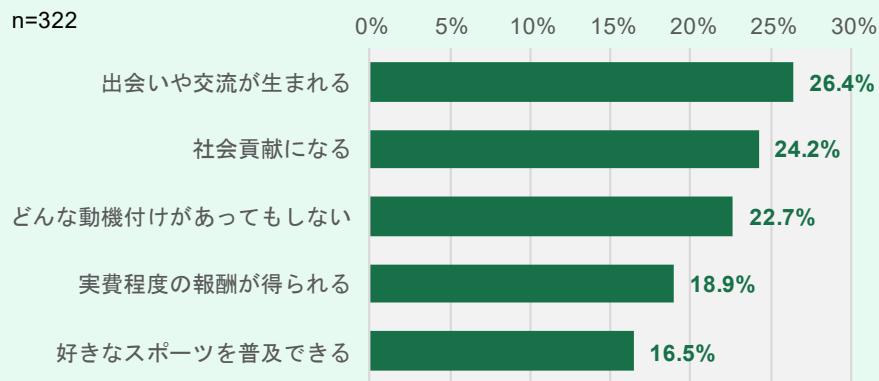
出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）

基本方針2 スポーツをはぐくむまち

インクルーシブなスポーツ都市を目指すうえでは、千葉市のスポーツ環境やスポーツの楽しみ方・在り方を、現状や既成概念にとらわれず、未来志向で柔軟に捉え、誰もが自分らしく関わる機会や仕組みづくりが求められます。

その実現には、競技者だけでなく、運営、応援、指導、ボランティアなど、さまざまな形でスポーツを“支える”人材の存在がこれまで以上に不可欠です。こうした人々が地域のスポーツ文化を支え、広げていく力となります。

こうした背景を踏まえ、今後は「出会いや交流」「社会貢献」などを動機づけとしながら、スポーツを支える人材の育成・確保に取り組むとともに、スポーツを支える人材・団体への継続的な支援、地域スポーツ教室や行事の開催などを通じて、誰もが関わりやすく、支えやすい環境を整えることにより、スポーツをはぐくんでいきます。



スポーツボランティアに参画するための条件

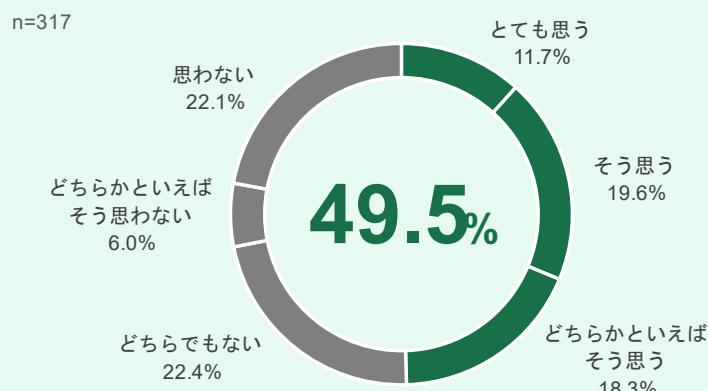
出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）

基本方針3 スポーツを中心につながるまち

スポーツは、実施するだけでなく、観戦を通じて人々が集い、地域やまちのにぎわいを生み出し、多様な産業分野で経済的な効果を創出するなど、まちの活性化にもつながることが期待されます。

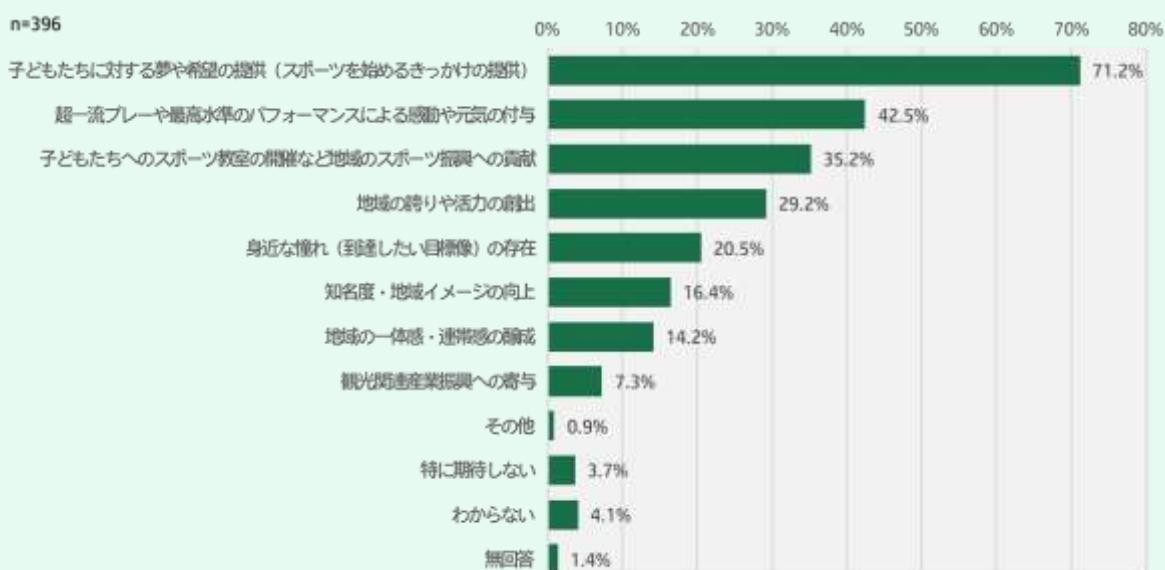
また、パラスポーツの観戦や体験は、障害のある方への理解や共感が広がり、多様性を尊重する社会づくりにもつながります。

このように、スポーツは、単に体を動かす行為に留まらず、人々の心身を豊かにし、多様な価値を結びつけ、地域社会に新たな活力を生み出す無限の可能性を秘めています。この「つなぐ力」を最大限に引き出し、スポーツをあらゆる発展の起点、すなわち「中心」に据えることで、市民生活の質の向上、共生社会の実現、そして都市の持続的な成長を目指します。



スポーツをきっかけにコミュニティが広がったと思う割合

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）



プロスポーツに期待する効果

出典：千葉市スポーツ推進計画策定に関する市民意識調査（R6）

04 目標達成に向けた施策展開

1 施策体系

将来像	基本方針	施策の方向性
スポーツでみんなとまちの元気をはぐくむ！	1 みんな誰もがスポーツを楽しめるまち	1－1 誰もがスポーツに親しめる場をつくる
		1－2 誰もがそれぞれのトップレベルを目指せる環境をつくる
		1－3 誰もがスポーツを続けられるための安全や安心をつくる
	2 スポーツをはぐくむまち	2－1 誰もがスポーツに親しめる機会をつくる
		2－2 スポーツの未来を紡ぐ
		2－3 スポーツ活動を支える組織・人材の育成と、活躍の機会づくりを進める
	3 スポーツを中心につながるまち	3－1 スポーツにより市民が健康とつながる
		3－2 スポーツにより多様な立場の市民がつながる
		3－3 スポーツが地域の活性化や魅力向上につながる

取組（再掲を除く）

① 体育施設整備事業 ② スポーツ施設のバリアフリー改修 ③ 稲毛ヨットハーバーの改修 ④ 稲毛ヨットハーバー管理運営 ⑤ スポーツ施設管理事業 ⑥ スポーツ広場管理事業	⑦ 運動広場管理運営 ⑧ 学校体育施設開放事業 ⑨ 高齢者スポーツ広場事業 ⑩ 障害者スポーツ施設運営 ⑪ スポーツ施設におけるキャッシュレス決済の導入 ⑫ ビーチスポーツ活動の促進
① アスリートの支援 ② 種目別大会の開催 ③ 市民総合スポーツ大会の開催 ④ 障害者スポーツ大会の開催 ⑤ 県民体育大会への選手などの派遣	⑥ 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣 ⑦ 車いすバスケットボールナショナルトレーニングセンターの運営 ⑧ 教育・文化・スポーツ等功労者褒賞 ⑩ 市ゆかりのアスリート・チームのPR
① 学校体育施設開放事業における空調設備の活用 ② スポーツ障害などの予防の啓発 ③ スポーツ医・科学の活用体制の構築 ④ スポーツに関する安全・安心講習の実施	
① スポーツ・レクリエーションの情報提供 ② 多世代参加型スポーツ・レクリエーションの推進 ③ スポーツ・レクリエーション用具の貸出 ④ スポーツ・レクリエーション祭の開催 ⑤ 地区スポーツ・レクリエーション行事の開催 ⑥ 市民体育祭兼地区体育祭の開催 ⑦ 家庭バレー大会の開催	⑧ パラスポーツフェスタちばの開催 ⑨ オープンボッチャ大会の開催 ⑩ 親子体操教室 ⑪ チャレンジ運動講習会 ⑫ スポーツ教室の開催 ⑬ ウォーキング活動の支援 ⑭ アーバンスポーツの振興 ⑯ パラスポーツ教室 ⑯ パラスポーツ振興補助金 ⑯ パラスポーツ競技用具の貸し出し ⑯ トップスポーツとの連携推進 ⑯ 海洋スポーツ振興事業 ⑯ ASOBINISTA FESTA の開催 ⑯ eスポーツの活用促進
① 部活動地域展開 ② 部活動地域展開に関する人材育成 ③ 中学校運動部活動複数校合同実施 ④ 放課後子ども教室推進事業 ⑤ 子どもたちの森公園運営事業 ⑥ 少年自然の家管理運営 ⑦ 移動教室 ⑧ 青少年育成委員会事業 ⑨ 青少年相談員事業 ⑩ ふれあいパスポート事業	⑪ 小学校各種体育大会等事業 ⑫ 中学校体育大会事業 ⑬ 新体力テストの実施 ⑭ 中学校運動部活動指導者派遣事業 ⑮ 学校体育美技指導協力者派遣事業 ⑯ 研究学校指定事業 ⑯ 要請・計画訪問による指導・助言 ⑯ 中学校選手派遣費補助事業 ⑯ トップスポーツふれあい交流事業の実施 ⑯ パラアスリート学校訪問 ⑯ 千葉市スポーツコーチャーの派遣 ⑯ プール管理補助員派遣事業 ⑯ 千葉市少年スポーツ連盟の活動支援 ⑯ 千葉市スポーツ少年団の活動支援 ⑯ 千葉市少年スポーツ連盟中央大会の開催 ⑯ ジュニアスポーツ大会の開催 ⑯ 千葉市長旗争奪ミニサッカー大会の開催 ⑯ 千葉ポートアリーナ杯争奪ミニバスケットボール大会の開催 ⑯ 千葉市長杯争奪学童野球選手権大会の開催
① 各種講習会・研修会 ② 公認スポーツ指導者の育成 ③ スポーツ指導者講習会の実施 ④ パラスポーツ指導員の養成 ⑤ 千葉市スポーツ推進委員の資質向上	⑥ 千葉市スポーツコーチャーの資質向上 ⑦ 千葉市スポーツ協会の活動支援 ⑧ 総合型地域スポーツクラブの支援 ⑨ 千葉市スポーツ推進委員連絡協議会の活動支援 ⑩ 千葉市スポーツ振興会連絡協議会の活動支援 ⑯ 千葉市スポーツ功労者表彰 ⑯ 千葉県パラスポーツ指導者協議会との連携 ⑯ 大学連携によるパラスポーツの担い手育成 ⑯ チーム千葉ボランティアネットワークの活用
① 職場における健康づくりの普及啓発 ② 高齢者向けの健康づくりなどの情報提供 ③ 健康づくりスポーツ教室の開催 ④ プロスポーツチームから学ぶ健康づくり教室	⑤ シニアリーダー養成講座 ⑥ 民間のフィットネス事業への支援 ⑦ 全国健康福祉祭の選手派遣 ⑧ 大学と連携したスポーツや健康の研究
① ユニバーサルスポーツの推進 ② パラスポーツの普及・啓発 ③ 障害者とのスポーツ交流の機会創出 ④ スポーツ交流の周知 ⑤ 長柄げんきキャンプ ⑥ 長柄ジョイントキャンプ	⑦ 長柄ハッピーキャンプ ⑧ スポーツフェスタ ⑨ パラスポーツを支える人の育成 ⑩ パラスポーツ推進に係るネットワークの充実 ⑪ パラスポーツの地域における展開・環境づくり
① ホームタウンの推進 ② アルティーリ千葉新アリーナの整備支援 ③ 千葉マリンスタジアムの再構築 ④ ZOZO マリンスタジアム（千葉マリンスタジアム）の改修 ⑤ 蘇我スポーツ公園スポーツ施設の改修	⑥ 緑、水辺を活かしたスポーツ大会の開催支援 ⑦ 千葉シティトライアスロン大会の開催支援 ⑧ 国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援 ⑨ スポーツツーリズムの推進

2 施策の整理

基本方針 1 みんな誰もがスポーツを楽しめるまち

取組	する	みる	ささ える	あつ まる	関心 喚起	実行 促進	継続 支援
1 - 1 誰もがスポーツに親しめる場をつくる							
① 体育施設整備事業	●					●	●
② スポーツ施設のバリアフリー改修	●			●		●	●
③ 稲毛ヨットハーバーの改修	●			●	●	●	
④ 稲毛ヨットハーバー管理運営	●			●		●	
⑤ スポーツ施設管理事業	●			●		●	●
⑥ スポーツ広場管理事業	●			●		●	●
⑦ 運動広場管理運営	●			●		●	
⑧ 学校体育施設開放事業	●					●	●
⑨ 高齢者スポーツ広場事業	●			●		●	●
⑩ 障害者スポーツ施設運営	●			●		●	●
⑪ スポーツ施設におけるキャッシュレス決済の導入	●					●	
⑫ ビーチスポーツ活動の促進	●			●		●	
⑬ ZOZO マリンスタジアム（千葉マリンスタジアム）の改修	●	●		●			●
⑭ 蘇我スポーツ公園スポーツ施設の改修	●	●		●			●
⑮ アルティーリ千葉新アリーナの整備支援	●	●	●	●	●	●	●
⑯ 千葉マリンスタジアムの再構築	●	●	●	●	●	●	●
⑰ 子どもたちの森公園運営事業	●					●	
⑱ 少年自然の家管理運営	●					●	
⑲ 放課後子ども教室推進事業	●					●	

※ 再掲の取組は斜体で表記する。次ページ以降も同様。

取組	する	みる	ささ える	あつ まる	関心 喚起	実行 促進	継続 支援
1 - 2 誰もがトップレベルを目指せる環境をつくる							
① アスリートの支援					●		●
② 種目別大会の開催	●			●			●
③ 市民総合スポーツ大会の開催	●	●		●			●
④ 障害者スポーツ大会の開催							
⑤ 県民体育大会への選手などの派遣	●						●
⑥ 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣	●						●
⑦ 車いすバスケットボールナショナルトレーニングセンターの運営	●	●		●			
⑧ 教育・文化・スポーツ等功労者褒賞					●		●
⑨ 市ゆかりのアスリート・チームのPR					●		●
⑩ ジュニアスポーツ大会の開催	●			●		●	●
⑪ 千葉市長旗争奪ミニサッカー大会の開催	●			●			●
⑫ 千葉ポートアリーナ杯争奪ミニバスケットボール大会の開催	●			●			●
⑬ 千葉市長杯争奪学童野球選手権大会の開催	●			●			●
⑭ 千葉市少年スポーツ連盟中央大会の開催	●		●	●		●	●
⑮ 中学校体育大会事業	●						
⑯ 中学校選手派遣費補助事業							●
⑰ 小学校各種体育大会等事業	●						
1 - 3 誰もがスポーツを続けられるための安全や安心をつくる							
① 学校体育施設開放事業における空調設備の活用	●						●
② スポーツ障害などの予防の啓発	●						●
③ スポーツ医・科学の活用体制の構築	●						●
④ スポーツに関する安全・安心講習の実施	●						●
⑤ 千葉市スポーツコーチャーの資質向上			●				●
⑥ スポーツ施設管理事業	●					●	●

基本方針2 スポーツをはぐくむまち

取組	する	みる	ささ える	あつ まる	関心 喚起	実行 促進	継続 支援
2-1 誰もがスポーツに親しめる機会をつくる							
① スポーツ・レクリエーションの情報提供	●			●	●	●	
② 多世代参加型スポーツ・レクリエーションの推進	●					●	
③ スポーツ・レクリエーション用具の貸出	●					●	
④ スポーツ・レクリエーション祭の開催	●			●		●	
⑤ 地区スポーツ・レクリエーション行事の開催	●			●		●	
⑥ 市民体育祭兼地区体育祭の開催	●			●		●	
⑦ 家庭バレーボール大会の開催	●			●		●	
⑧ パラスポーツフェスタちばの開催	●		●	●		●	
⑨ オープンボッチャ大会の開催	●		●	●		●	
⑩ 親子体操教室	●					●	
⑪ チャレンジ運動講習会	●					●	
⑫ スポーツ教室の開催	●					●	●
⑬ ウォーキング活動の支援	●					●	●
⑭ アーバンスポーツの振興	●	●		●	●	●	●
⑮ ちばしパラスポーツコンシェルジュの開設	●				●	●	●
⑯ パラスポーツ教室	●			●		●	●
⑰ パラスポーツ振興補助金	●		●	●	●	●	●
⑱ パラスポーツ競技用具の貸し出し	●					●	
⑲ トップスポーツとの連携推進	●	●	●	●	●	●	
⑳ 海洋スポーツ振興事業	●				●	●	●
㉑ ASOBINISTA FESTA の開催	●				●		
㉒ e スポーツの活用促進	●		●		●	●	
㉓ 緑、水辺を活かしたスポーツ大会の開催支援	●	●	●	●	●		
㉔ 千葉シティライアスロン大会の開催支援	●	●	●	●		●	
㉕ 移動教室	●					●	
㉖ 放課後子ども教室推進事業	●					●	
㉗ 青少年育成委員会事業	●					●	
㉘ 青少年相談員事業	●					●	
㉙ スポーツ交流の周知	●			●	●		
㉚ ホームタウンの推進		●	●	●	●		
㉛ 総合型地域スポーツクラブの支援	●		●	●		●	●

取組	する	みる	ささ える	あつ まる	関心 喚起	実行 促進	継続 支援
2 - 2 スポーツの未来を紡ぐ							
① 部活動地域展開	●					●	●
② 部活動地域展開に関する人材育成	●		●			●	●
③ 中学校運動部活動複数校合同実施	●					●	●
④ 放課後子ども教室推進事業	●					●	
⑤ 子どもたちの森公園運営事業	●					●	
⑥ 少年自然の家管理運営	●					●	
⑦ 移動教室	●					●	
⑧ 青少年育成委員会事業	●				●	●	
⑨ 青少年相談員事業	●				●	●	
⑩ ふれあいパスポート事業		●			●		
⑪ 小学校各種体育大会等事業	●					●	
⑫ 中学校体育大会事業	●					●	
⑬ 新体力テストの実施						●	
⑭ 中学校運動部活動指導者派遣事業			●			●	
⑮ 学校体育実技指導協力者派遣事業						●	
⑯ 研究学校指定事業						●	
⑰ 要請・計画訪問による指導・助言						●	
⑱ 中学校選手派遣費補助事業							●
⑲ トップスポーツふれあい交流事業の実施	●				●	●	
⑳ パラアスリート学校訪問	●				●	●	
㉑ 千葉市スポーツコーチャーの派遣	●		●			●	●
㉒ プール管理補助員派遣事業						●	
㉓ 千葉市少年スポーツ連盟の活動支援			●			●	●
㉔ 千葉市スポーツ少年団の活動支援			●			●	●
㉕ 千葉市少年スポーツ連盟中央大会の開催	●		●	●		●	●
㉖ ジュニアスポーツ大会の開催	●			●		●	●
㉗ 千葉市長旗争奪ミニサッカー大会の開催	●			●			●
㉘ 千葉ポートアリーナ杯争奪ミニバスケットボール大会の開催	●			●			●
㉙ 千葉市長杯争奪学童野球選手権大会の開催	●			●			●

取組	する	みる	ささえる	あつまる	関心喚起	実行促進	継続支援
2-3 スポーツ活動を支える組織・人材の支援と、活躍の機会づくりを進める							
① 各種講習会・研修会			●			●	●
② 公認スポーツ指導者の育成			●			●	●
③ スポーツ指導者講習会の実施			●		●		
④ パラスポーツ指導員の養成			●			●	●
⑤ 千葉市スポーツ推進委員の資質向上			●			●	●
⑥ 千葉市スポーツコーチャーの資質向上			●				
⑦ 千葉市スポーツ協会の活動支援	●	●	●	●	●	●	●
⑧ 総合型地域スポーツクラブの支援	●		●	●		●	●
⑨ 千葉市スポーツ推進委員連絡協議会の活動支援	●		●			●	●
⑩ 千葉市スポーツ振興会連絡協議会の活動支援	●		●	●		●	
⑪ 千葉市スポーツ功労者表彰					●		●
⑫ 千葉県パラスポーツ指導者協議会との連携			●				
⑬ 大学連携によるパラスポーツの担い手育成			●				
⑭ チーム千葉ボランティアネットワークの活用			●		●		
⑮ 千葉市少年スポーツ連盟の活動支援			●			●	●
⑯ 千葉市スポーツ少年団の活動支援			●			●	●
⑰ 青少年育成委員会事業	●		●				
⑱ 青少年相談員事業	●		●			●	
⑲ 部活動地域展開に関する人材育成			●				
⑳ 学校体育実技指導協力者派遣事業	●		●			●	●
㉑ シニアリーダー養成講座			●			●	●
㉒ ホームタウンの推進		●	●	●	●	●	
㉓ 緑、水辺を活かしたスポーツ大会の開催支援	●	●	●	●	●		
㉔ 千葉シティトライアスロン大会の開催支援	●	●	●	●		●	
㉕ 国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援	●	●	●	●	●		
㉖ 千葉市スポーツコーチャーの派遣			●				●

基本方針3 スポーツを中心につながるまち

取組	する	みる	ささえる	あつまる	関心喚起	実行促進	継続支援
3-1 スポーツにより市民が健康とつながる							
① 職場における健康づくりの普及啓発	●				●		
② 高齢者向けの健康づくりなどの情報提供	●				●		
③ 健康づくりスポーツ教室の開催	●					●	●
④ プロスポーツチームから学ぶ健康づくり教室	●					●	●
⑤ シニアリーダー養成講座			●			●	●
⑥ 民間のフィットネス事業への支援	●				●		
⑦ 全国健康福祉祭の選手派遣	●					●	●
⑧ 大学と連携したスポーツや健康の研究	●		●				
3-2 スポーツにより多様な立場の市民がつながる							
① ユニバーサルスポーツの推進	●		●	●	●	●	●
② パラスポーツの普及・啓発	●	●		●	●	●	
③ 障害者とのスポーツ交流の機会創出	●			●	●	●	
④ スポーツ交流の周知	●			●	●		
⑤ 長柄げんきキャンプ	●			●	●		
⑥ 長柄ジョイントキャンプ	●			●	●		
⑦ 長柄ハッピーキャンプ	●				●		
⑧ スポーツフェスタ	●				●		
⑨ パラスポーツを支える人の育成			●			●	
⑩ パラスポーツ推進に係るネットワークの充実			●	●	●	●	●
⑪ パラスポーツの地域での展開・環境づくり	●			●		●	●
⑫ パラスポーツ指導員の養成			●			●	●
⑬ 千葉県パラスポーツ指導者協議会との連携			●	●			
⑭ 大学連携によるパラスポーツの担い手育成	●		●		●		
⑮ パラアスリート学校訪問	●				●	●	
⑯ ちばしパラスポーツコンシェルジュの開設	●				●	●	●
⑰ パラスポーツ教室	●			●		●	●
⑱ パラスポーツ振興補助金	●		●	●	●	●	●
⑲ パラスポーツ競技用具の貸し出し	●					●	
⑳ 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣	●						●

取組	する	みる	ささ える	あつ まる	関心 喚起	実行 促進	継続 支援
3 - 3 スポーツが地域の活性化や魅力向上につながる							
① ホームタウンの推進		●	●	●	●	●	
② アルティーリ千葉新アリーナの整備支援	●	●	●	●	●	●	●
③ 千葉マリンスタジアムの再構築	●	●	●	●	●	●	●
④ ZOZO マリンスタジアムの（千葉マリンスタジアム）の改修	●	●		●			●
⑤ 蘇我スポーツ公園スポーツ施設の改修	●	●		●			●
⑥ 緑、水辺を活かしたスポーツ大会の開催支援	●	●	●	●	●		
⑦ 千葉シティトライアスロン大会の開催支援	●	●		●		●	
⑧ 国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援	●	●	●	●	●		
⑨ スポーツツーリズムの推進		●		●	●	●	●

3 施策

基本方針 1 みんな誰もがスポーツを楽しめるまち

1-1 誰もがスポーツに親しめる場をつくる

アンケート調査の結果、市民の多くが自宅周辺や道路、遊歩道でスポーツを実施していることが明らかになりました。

オープンスペースの積極的な活用を推進するとともに、公共スポーツ施設多くの市民に利用されており、長寿命化と安全性確保のため計画的な改修・更新を実施するとともに、決済方法のキャッシュレス化など、より利便性の高い環境を提供します。

本市では市民の体力づくり、コミュニティ活動の推進、地域スポーツの振興、子どもの遊び場確保を目的に、市内の小・中学校の学校体育施設を身近なスポーツ施設として提供しており、令和6年度は約191万人の利用があったことから今後は快適な利用環境づくりに取り組みます。

また、国の調査から、スポーツへの参画の仕方によって幸福感に差があり、複合的な参画ほど幸福感が高まる傾向がみられ、「する・みる・ささえる」すべてに参画した者は、日常生活の幸福感が最も高いことが報告されています。さらには、「スタジアムやアリーナでの観戦ならびにテレビ・インターネットでの観戦は、どちらも生活充実感と有意な正の関連がある」ことが生理的な学術研究からも示されており、スポーツを「観る」ことがウェルビーイングの醸成に寄与することがわかっています。その他、運動・スポーツ実施の促進につながる可能性が指摘されており、スポーツに親しむ重要な手段の一つです。

こうした観点から「アルティーリ千葉の新アリーナ整備支援」及び「千葉マリンスタジアムの再構築」に取り組みます。

【主な取組】

- 学校体育施設開放事業
- スポーツ広場管理事業
- スポーツ施設におけるキャッシュレス決済の導入
- ビーチスポーツ活動支援

1 - 2 誰もがそれぞれのトップレベルを目指せる環境をつくる

誰もが自分の目標に向かって挑戦できるよう、それぞれのステージでトップレベルを目指す環境づくりを進めます。

例えば、ライフステージや競技レベルに応じて出場できる大会は、それぞれの目標やトップレベルを目指すための環境の一部として機能し、モチベーションの向上を通じて、継続的なスポーツ実施を促す要素となります。

また、トップレベルのアスリートや、それを目指す次世代の選手を支援する制度を整備し、本市から全国や世界で活躍する人材の育成・輩出を推進していきます。

【主な取組】

- 市民総合スポーツ大会の開催
- アスリートの支援
- 種目別大会の開催

市民総合スポーツ大会や種目別大会の開催

競技レベルに応じて参加できるスポーツ大会の開催は、誰もが自分に合ったステージで挑戦できる環境を整えるものであり、スポーツの継続的な実施を促進する重要な取組です。

本市では市民総合スポーツ大会の開催や種目別大会の開催支援を通じて、誰もがそれぞれのトップレベルを目指す環境づくりに取り組んで参ります。

アスリートの支援

本市ゆかりのアスリートや次世代アスリートが全国や世界で活躍することは、市民のスポーツに対する関心や意欲を向上させ、シビックプライドの醸成につながります。

また、アスリートへの支援は、アスリート自身のモチベーション向上や競技生活の継続に資するものであることから、「千葉市ゆかりのトップアスリート支援金」や「千葉市ゆかりの次世代アスリート支援金」の制度を通じて、本市にゆかりのあるアスリートを応援します。

1 - 3 誰もがスポーツを続けられるための安全や安心をつくる

市民一人ひとりが安心・安全に、楽しくスポーツを実施できるよう、環境を整えるとともに、スポーツにおけるハラスメントの防止を含む安全に関する情報を積極的に発信し、定期的な普及啓発活動を通じて理解と意識の向上を図ります。

また、近年地球温暖化の影響で、スポーツ中の熱中症の危険性が増加していることから、学校施設開放事業における空調設備の活用環境の整備など、市民ニーズに対応した利用環境の向上を図ります。

【主な取組】

- 学校体育施設開放事業における空調設備の活用
- スポーツに関する安全・安心講習の実施

学校体育施設開放事業における空調設備の活用

2025年6月、スポーツ基本法の改正により、「スポーツ事故の防止等」に関して、国および地方公共団体は「気候の変動への対応に特に留意しなければならない」との文言が新たに加わりました。

猛暑下での運動は、屋外だけでなく、エアコンのない体育館でも熱中症リスクは高く、学校体育施設開放事業においても空調設備の活用を進め、市民の皆さんのが安全にスポーツに親しめる環境を整えます。

スポーツに関する安全・安心講習の実施

2025年6月、スポーツ基本法の改正により、国及び地方公共団体は、「スポーツを行う者に対する、暴力、優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの、性的な言動、インターネット上の誹謗ひぼう中傷等によりスポーツを行う者の環境が害されることのないよう、必要な措置を講じなければならない。」ことが明文化されました。

本市においてもパワハラ・セクハラのない環境づくりを実現するため、指導者向けの講習会を実施します。

基本方針2 スポーツをはぐくむまち

2-1 誰もがスポーツに親しめる機会をつくる

誰もがスポーツに親しめる機会を創出するため、さまざまな取組を進めます。

市民の健康増進及び体力づくりを目指すとともに、子どもから高齢者まで、いつでも、どこでもできるスポーツ・レクリエーション活動を楽しむ場であるスポーツ・レクリエーション祭の開催や、障害がある方を対象としたパラスポーツ教室の開催などを通じて、誰もがスポーツに楽しめる機会を創出します。

また、音楽やファッショントとの親和性も高いスケートボード・BMX・ブレイキンなどのアーバンスポーツの振興を通じて、新たなスポーツカルチャーを醸成し、若者世代が気軽にスポーツに親しめる機会を広げます。

【主な取組】

- スポーツ・レクリエーション祭の開催
- 障害者のスポーツ活動への参加促進
- アーバンスポーツの振興

アーバンスポーツの振興

本市では、世界最高峰のアクションスポーツの国際競技会『X Games』の国内初開催や、ブレイキンの世界大会『Freestyle Session』の日本予選となる『Freestyle Session JAPAN』の開催などを通じて、新たなスポーツカルチャーを育む土壤が形成されてきました。

スケートボード・BMX・ブレイキンなどのアーバンスポーツは音楽やアート、ファッショントとも関連があり、アーバンスポーツを振興することは新たなスポーツカルチャーの醸成につながります。このことは都市の魅力を高め、活気に満ちたまちづくりに寄与するものです。

そこで、市民がアーバンスポーツに触れ、親しみ、楽しむ機会を創出するため、普及活動やイベントの開催・支援に取り組むとともに、普及状況に応じた環境整備を検討します。



2-2 スポーツの未来を紡ぐ

スポーツ実施率の向上を図るうえでは、低年齢層のスポーツ離れを防ぐことが効果的です。本市においても学生のスポーツ実施率は8割近くあるものの、成人では約6割に留まります。

トップスポーツチーム・アスリート・パラアスリートによる学校訪問事業や、千葉市少年スポーツ連盟・千葉市スポーツ少年団の活動支援を通じて学校教育以外の場でスポーツに親しむ機会の創出し、子どものうちから、スポーツに対する好意を育みます。

また、部活動の地域クラブへの転換により、学校部活動の教育的意義を継承・発展させながら、生徒に多様で豊かな活動機会と新たな価値を提供します。

【主な取組】

- 部活動地域展開
- 千葉市スポーツ少年団、千葉市少年スポーツ連盟の活動支援
- 部活動地域展開に関する人材育成

部活動地域展開

急激に少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に触れ合う機会を確保するため、中学校の部活動改革に取り組み、学校を含む地域全体で関係者が連携し、学校部活動の教育的意義を継承・発展させながら、生徒に多様で豊かな活動機会と新たな価値を提供する取組です。本市では、国が定める改革推進期間（令和5年～7年度）・改革実行期間（令和8年度～13年度）において、地域展開に関する実証事業などを行いながら、まずは休日部活動の完全地域展開を目指すとともに、改革実行期間の前期が終了する令和10年度末に中間評価を行いながら、平日の取組についても検討を進めてまいります。



部活動地域展開に関する人材育成

部活動の地域展開において安定的な運営を図るため、指導者の確保と質の向上が重要です。民間企業との連携や大学生へのアプローチなどによる指導者の確保・掘り起こしに加え、研修の実施を通じて指導者の資質向上に取り組みます。



2-3 スポーツ活動を支える組織・人材の育成と、活躍の機会づくりを進める

地域でのスポーツ活動を円滑に進めるためには、スポーツ活動を支える多様な人材や組織の存在が不可欠です。

そこで、支える人材の育成や組織を支援するとともに、気軽に参画できる機会づくりに取り組み、地域スポーツが持続的に発展し、誰もがスポーツを楽しめる環境を支える基盤を整えます。

また、部活動の地域展開を見据え、地域人材の確保育成を進めます。

【主な取組】

- 千葉市スポーツ協会の活動支援
- チーム千葉ボランティアネットワークの活用
- 公認スポーツ指導者の育成

千葉市スポーツ協会の活動

市民のスポーツ活動の普及振興を基本理念に、千葉市の施策と市民ニーズを踏まえ、地域や世代間のコミュニケーションを図りながら、誰もが様々なライフステージにおいて、市民が主役の「する」「観る」「支える」スポーツ・レクリエーション活動とともに、競技力向上及びスポーツ団体の育成に関する事業、障害者スポーツの普及・振興を目的とした事業を展開します。

また、広く市民にスポーツの魅力を伝えるため、スポーツ・レクリエーションに触れる機会を提供します。



3-1 スポーツにより市民が健康とつながる

スポーツには、生活習慣病の予防や体力向上による健康寿命の延伸効果があります。さらに、ストレスの軽減や自尊心の向上、社会的なつながりを感じられるといった心の健康増進にもつながります。

市民の体力向上や生活習慣病等の予防を目指し、定期的な運動機会の提供や日常生活の中での健康づくりを推進することで、健やかで活力ある地域社会の実現を目指します。

【主な取組】

- 健康づくりスポーツ教室の開催
- 職場における健康づくりの普及啓発
- 高齢者向けの健康づくりなどの情報提供
- プロスポーツチームから学ぶ健康づくり教室

健康づくりスポーツ教室

公益財団法人千葉市スポーツ協会では、市民の生活習慣改善の動機づけ・健康づくりを推進することを目的に、スポーツと健康をより深く関連づけた健康づくりのための教室を開催しております。

令和6年度には、格闘技エクササイズ、体幹トレーニング、美姿勢ローラーピラティスなど20教室を開きました。

また、アンケートを実施し、いただいた意見やスポーツ動向を注視し利用者目線で教室内容等も含め、改善を図ります。



3-2 スポーツにより多様な立場の市民がつながる

スポーツを通じて、多様な立場の市民が交流し、共生社会の実現を目指します。

多様な人が一緒に楽しむことができるユニバーサルスポーツの普及・啓発を通して、健常者と障害者が共にスポーツを楽しむ機会を創出し、相互理解を深め、共生への意識を育みます。

また障害者のスポーツイベントや競技会への参加を支援し、障害者がスポーツを通じて活躍できる場を提供します。

【主な取組】

- ユニバーサルスポーツの推進
- 障害者とのスポーツ交流の機会創出
- パラスポーツの普及・啓発
- パラスポーツを支える人の育成

ちばしパラスポーツコンシェルジュ

「自分にあったスポーツが知りたい」「ボッチャをやってみたいので、近くで参加できるサークルが知りたい」などのパラスポーツに関する相談窓口で、令和元年に開設してから多くの相談者をスポーツ活動に繋げています。



【参考事例】

ウォーキングフットボール

本市と包括連携協定を締結している公益財団法人日本サッカー協会は、「走らない」および「非接触（ボールを取りにいかない）」という日本独自の安全ルールを導入したウォーキングフットボールを推進することで、サッカー＝激しいスポーツという既成概念を覆し、未経験者や運動が苦手な方、障害のある方も含めた誰もが怖がらずにプレーできる環境を整えるとともに、その普及を担う人材養成講習会を通じて地域社会へ安全かつ円滑に広める活動を展開しています。



3-3 スポーツが地域の活性化や魅力向上につながる

スタジアム・アリーナを核としたスポーツイベントやスポーツツーリズムは、観光消費や雇用創出を通じて地域経済に一定のプラス効果をもたらし得ることが報告されています。ただし、その効果を持続的な参加拡大・経済成長につなげるには、身近なスポーツ環境整備やエリアマネジメント等との一体的な取組が必要です。

政府の「経済財政運営と改革の基本方針 2024」でも、スタジアム・アリーナの高度活用やスポーツツーリズムの推進、スポーツ産業の成長促進が成長戦略の一つとして位置付けられており、スポーツ庁の事業においても、スタジアム・アリーナと周辺機能を一体的に整備・運営する「スポーツコンプレックス」の推進が掲げられています。

本市としても、アルティーリ千葉新アリーナの整備支援や千葉マリンスタジアムの再構築を通じて、幕張メッセや JFA 夢フィールド等とともに「スポーツ・文化」をテーマにまちをつなぎ、まちの多様な機能と連携し相乗効果を発揮することで、まちの魅力向上、回遊性・滞在快適性向上と地域経済の活性化を目指します。

さらに、千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド市原・千葉、ジェフユナイテッド市原・千葉レディース、アルティーリ千葉、千葉ドットといったトップスポーツチームのホームタウンであることを活かし、チームと連携し、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多様な形で市民がスポーツに参加するきっかけや参加者同士の交流を創出し、シビックプライドを醸成します。

また、スポーツを通じて観光の促進や経済効果の創出を図るため、スポーツツーリズムを推進し、国際・全国規模のスポーツ大会の誘致に取り組みます。

【主な取組】

- ホームタウンの推進
- 千葉マリンスタジアムの再構築
- スポーツツーリズムの推進
- アルティーリ千葉新アリーナの整備支援
- 国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援

ホームタウンの推進

本市は千葉ロッテマリーンズ（プロ野球チーム）、ジェフユナイテッド市原・千葉（プロサッカーチーム）・ジェフユナイテッド市原・千葉レディース（女子プロサッカーチーム）、アルティーリ千葉（プロバスケットボールチーム）、千葉ドット（バレーボールチーム）のホームタウンです。

ホームタウンチームの存在は市民に感動と彩りを届け、シビックプライドの醸成を促すとともに、「スポーツをする・みる・ささえる」「スポーツを通じてあつまる」機会を創出するものとなります。

こうしたことから、本市ではホームタウンチームの活動を支援し、またチームと連携して観戦招待事業（市民デー開催）や、子どもたちが選手とふれあう機会づくり等に取り組みます。



©C.L.M



© JEFUNITED



アルティーリ千葉新アリーナの整備支援

新アリーナは2030年の開業を目指し、最大2万人を収容できる大規模施設として、千葉市美浜区の県立幕張海浜公園内に民間資金により整備される予定です。敷地面積約50,000平方メートル、延床面積約54,000平方メートル、建築面積は約20,000平方メートル、地上6階建ての計画です。

「アルティーリ千葉」のホームアリーナとしてだけでなく、コンサートや多様なイベントにも対応するマルチユース型施設として、公園の魅力向上を図るとともに、耐震性を備え、非常用電源等のライフラインが確保された大規模施設として、災害時には一時避難・帰宅困難者受け入れ機能や備蓄倉庫を有し、防災機能の向上も図ります。

また、幕張メッセ、JFA夢フィールドやマリンスタジアム等とともに、「スポーツ・文化」をテーマにまちをつなぎ、まちの多様な機能と連携し相乗効果を発揮することで、幕張新都心の魅力である「職」「住」「学」「遊」の機能の更なる向上、回遊性・滞在快適性向上を目指します。

※令和7年11月現在



千葉マリンスタジアムの再構築

ZOZO マリンスタジアム（千葉マリンスタジアム）は市内外から年間 200 万人超の人々が訪れる、幕張新都心の賑わい創出の原動力の一つとなっていますが、竣工から 35 年が経過し、施設の老朽化への対応や機能面の更新といった課題が生じていることから、令和 7 年 9 月、スタジアム再整備の方向性を示す「千葉マリンスタジアム再整備基本構想」を策定し、幕張メッセ駐車場に幕張新都心の新たなまちづくりの拠点となるスタジアムを再構築することとしました。

新たなスタジアムは、様々な機能を包含しながらも同一のコンセプトに基づく一体的な建築物として、市民利用が可能な公共施設としての「ベース機能」に加え、収益施設や誰もが楽しめる施設からなる「拡張機能」を導入し、概ね 2034 年（令和 16 年）頃の開業を目指します。



05 計画の推進にあたって

1 成果指標

(1) 成果指標・目標値

成果指標	現状値	目標値
実施率	60.1%	70%
現地観戦率	32.3%	50%
ボランティア参画率	12.9%	20%
障害者スポーツ実施率	13.1%	40%

(2) 成果指標の考え方

実施率

国の第3期基本計画における目標値70%と設定します。

現地観戦率

国の第3期基本計画における目標は「過去最高水準」としており、本市においてもアルティーリ千葉の新アリーナ整備支援や千葉マリンスタジアムの再構築も進めることから、より高見を目指し、50%と設定します。

ボランティア参画率

現時点で、参画実績を参画意向が下回っており、伸びしろとしては約半数を占める「どちらとも言えない」浮動層からの取り込みにより、20%と設定します。

障害者スポーツ実施率

他の指標と比べ、対全国平均比が最も低い状況ですが、国の第3期基本計画における目標値40%と設定します。

2 推進体制

本計画における各種施策の推進にあたっては、以下の体制で取り組みます。

(1) 他分野との横断的な取組

計画を着実に推進するため、教育、福祉、保健、観光などの他分野との連携を図ります。

(2) 国や県との整合性

国や県の動向・方向性を確認しながら計画の推進に取り組みます。

(3) 関係団体との連携

スポーツ推進委員連絡協議会、スポーツ協会、スポーツ少年団、体育施設指定管理者などの関係団体をはじめ、多様な連携を図ります。

3 進行管理

本計画の推進にあたっては、施策進捗や成果指標の達成度合いなどをもとに、スポーツ推進審議会において評価検討し、PDCAサイクルを繰り返すことにより、取組を継続的に改善していきます。

また、スポーツを巡る最新の動向を把握するとともに、関係団体や府内関係部局と調整をしながら取り組みます。

資料編

1 市内スポーツ施設

千葉ポートアリーナ
所在地 千葉市中央区問屋町1-20
施設内容 メインアリーナ サブアリーナ トレーニング室(1)(2) 体力測定室
休場日 年末年始 (12月29日～1月3日)、施設整備日
施設連絡先 TEL: 043-241-0006 FAX: 043-241-0164
千葉公園スポーツ施設
所在地 千葉市中央区弁天3-1-1
施設内容 総合体育館 野球場 庭球場 球技場 プール (屋外) ※夏季のみ
休場日 年末年始 (12月29日～1月3日)
施設連絡先 TEL: 043-253-8050 FAX: 043-255-1048
青葉の森スポーツプラザ
所在地 千葉市中央区青葉町654
施設内容 野球場 庭球場 弓道場 陸上競技場
休場日 年末年始 (12月29日～1月3日)
施設連絡先 TEL: 043-262-8899 FAX: 043-262-8942
こてはし温水プール
所在地 千葉市花見川区三角町750
施設内容 プール (屋内) スポーツ室 トレーニング室 多目的ホール 研修室
休場日 年末年始 (12月30日～1月1日)、第3月曜日 (月により変わることがあります)
施設連絡先 TEL: 043-216-0090 FAX: 043-216-0093
宮崎スポーツ広場
所在地 千葉市中央区宮崎2-5-26
施設内容 庭球場
休場日 年末年始 (12月29日～1月3日)
施設連絡先 TEL: 043-266-5744
犢橋公園野球場
所在地 千葉市花見川区三角町656-4
施設内容 野球場
休場日 年末年始 (12月29日～1月3日)
施設連絡先 TEL: 043-258-9690 FAX: 043-258-9692 (宮野木スポーツセンターで受付)

花島公園スポーツ施設

所在地	千葉市花見川区花島町308
施設内容	体育館 球技場 庭球場 弓道場
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-286-8825 FAX: 043-286-8826

宮野木スポーツセンター

所在地	千葉市稻毛区宮野木町2150-4
施設内容	体育館 野球場 庭球場 トレーニング室
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-258-9690 FAX: 043-258-9692

北谷津温水プール

所在地	千葉市若葉区北谷津町327-1
施設内容	プール（屋内）
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-228-5000 FAX: 043-228-5001

中田スポーツセンター

所在地	千葉市若葉区中田町1200-1
施設内容	野球場 庭球場 球技場 多目的運動場 グラウンドゴルフ場
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-228-2415 FAX: 043-228-2475

みつわ台第2公園スポーツ施設

所在地	千葉市若葉区みつわ台3-3-1
施設内容	体育館 野球場 庭球場 プール（屋外）※夏季のみ トレーニング室
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-287-3730 FAX: 043-287-7192

千葉市民ゴルフ場

所在地	千葉市若葉区下田町1005
施設内容	ゴルフコース（9ホール）
休場日	1月1日 ※その他施設管理のため、休業となることもあります。
施設連絡先	TEL: 043-237-0020 FAX: 043-237-0025

大宮スポーツ広場

所在地	千葉市若葉区大宮町3417
施設内容	野球場 庭球場 多目的広場
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-262-8485

有吉公園スポーツ施設	
所在地	千葉市緑区おゆみ野有吉34-1
施設内容	野球場 庭球場 プール（屋外）※夏季のみ
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-291-1800 FAX: 043-292-2189
古市場公園スポーツ施設	
所在地	千葉市緑区古市場474-277
施設内容	体育館 プール（屋外）※夏季のみ 野球場 庭球場 相撲場
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-265-3005 FAX: 043-266-3435
高洲スポーツセンター	
所在地	千葉市美浜区高洲4-2-2
施設内容	体育館 プール（屋外）※夏季のみ トレーニング室 スタジオ
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-279-9235 FAX: 043-277-7572
稻毛海浜公園スポーツ施設	
所在地	千葉市美浜区高浜7-1-3
施設内容	野球場 庭球場 球技場 屋内運動場
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-247-2443 FAX: 043-245-2317
高浜庭球場	
所在地	千葉市美浜区高浜2-1
施設内容	庭球場
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-246-2673
磯辺スポーツセンター	
所在地	千葉市美浜区磯辺1-50-1
施設内容	体育館 多目的グラウンド
休場日	年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-270-6780 FAX: 043-270-6790
稻毛ヨットハーバー	
所在地	千葉市美浜区磯辺2-8-1
施設内容	ヨットハーバー
休場日	毎週火曜日（祝日除く）、年末年始（12月29日～1月3日）
施設連絡先	TEL: 043-279-1160 FAX: 043-279-1575

アクアリンクちば

所在地	千葉市美浜区新港224-1
施設内容	アイススケート場
休場日	無休 ※施設管理等のため、休業となることもあります。
施設連絡先	TEL: 043-204-7283 FAX: 043-204-7284
幸町公園	
所在地	千葉市美浜区幸町1-4
施設内容	プール（屋外）※夏季のみ
施設連絡先	TEL: 043-241-5305
幕張西スポーツ広場	
所在地	千葉市美浜区幕張西6-1-3
施設内容	野球場 多目的広場
休場日	年末年始
施設連絡先	043-307-6016

2 スポーツ推進審議会

(1) 委員名簿 ※五十音順

N O	氏 名	所属機関・団体及び役職
1	梅村 芳延	公募委員
2	小川 直哉	公益財団法人千葉市スポーツ協会 会長
3	國吉 敏和	千葉市スポーツ振興会連絡協議会 副会長
4	佐倉 和明	千葉市スポーツ少年団 本部長
5	佐藤 和子	千葉県パラスポーツ指導者協議会 副会長
6	五月女 重夫	千葉市少年スポーツ連盟 副会長
7	高橋 薫	ジェフユナイテッド株式会社 取締役
8	馬場 宏輝	帝京平成大学健康医療スポーツ学部 教授
9	吉澤 裕子	特定非営利活動法人日本ビーチ文化振興協会 副会長
10	利渉 敏江	一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 理事

3 事業概要

施策 1-1 誰もがスポーツに親しめる場をつくる

事業名	事業概要
① 体育施設整備事業	市民が手軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるよう、各種スポーツ施設の整備に努めます。
② スポーツ施設のバリアフリー改修	誰もが利用しやすい施設となるよう必要に応じてスポーツ施設の改修を行います。
③ 稲毛ヨットハーバーの改修	マリンスポーツの拠点として利用ニーズに応えていくため、必要に応じて稻毛ヨットハーバーの浚渫や管理棟の修繕を行います。
④ 稲毛ヨットハーバー管理運営	公益財団法人千葉市スポーツ協会が管理許可を受けて実施する稻毛ヨットハーバーの管理運営事業について、当協会を所管する立場から必要な支援を行います。
⑤ スポーツ施設管理事業	市民が安心してスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、施設の管理・運営に努めます。
⑥ スポーツ広場管理事業	市民が身近でスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、スポーツ広場の管理・運営に努めます。
⑦ 運動広場管理運営	市民が手軽にできるスポーツ・レクリエーション活動の場として設置された運動広場の管理運営を円滑に行うため、管理運営委員会に管理運営を委託します。
⑧ 学校体育施設開放事業	市民が身近でスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、学校体育施設などの有効利用を図ります。
⑨ 高齢者スポーツ広場事業	高齢者の健康の維持・増進と相互の交流を図るため、高齢者スポーツ広場を設置しています。
⑩ 障害者スポーツ施設運営	障害のある人が安全・安心かつ優先的に利用できる施設を運営します。
⑪ スポーツ施設におけるキャッシュレス決済の導入	スポーツ施設の利用における利便性向上のため、キャッシュレス決済を導入します。
⑫ ビーチスポーツ活動の促進	貸出用ビーチスポーツ用具の整備など、年間を通じてビーチスポーツが行える環境づくりと、競技団体と協力してビーチスポーツ教室の開催を支援することで、ビーチスポーツの普及・促進を行います。
⑬ ZOZO マリンスタジアム（千葉マリンスタジアム）の改修	施設の計画的な維持管理を行い、利用者の安全性を確保するとともに、千葉ロッテマリーンズの本拠地としてプロスポーツの基準等に即した質の高い競技フィールドを維持します。
⑭ 蘇我スポーツ公園スポーツ施設の改修	施設の計画的な維持管理を行い、利用者の安全性を確保するとともに、フクダ電子アリーナ（蘇我球技場）については、ジェフユナイテッド市原・千葉の本拠地としてプロスポーツの基準等に即した質の高い競技フィールドを維持します。
⑮ アルティーリ千葉新アリーナの整備支援	「アルティーリ千葉」の本拠地としてだけでなく、スポーツや文化の振興拠点としても市民に親しまれ、地域の魅力を高め、まちづくりの拠点となることを目指し、新アリーナの整備支援を行います。

事業名	事業概要
⑯ 千葉マリンスタジアムの再構築	幕張豊砂駅に近接し、周辺の大規模商業施設や幕張メッセとの相乗効果を生み出すことができる幕張メッセ駐車場に、幕張新都心の新たなまちづくりの拠点となるスタジアムを再構築します。
⑰ 子どもたちの森公園運営事業	子どもが自由な発想でのびのびと遊ぶことができる場所として、子どもたちの森公園を常設型のプレーパークとして運営します。
⑱ 少年自然の家管理運営	子どもたちによる生活体験、自然体験、共同宿泊体験などの教育的体験活動を行う場として、長生郡長柄町の県立笠森鶴舞自然公園内に整備した少年自然の家管理運営を行います。
⑲ 放課後子ども教室推進事業	放課後に小学校の校庭や体育館、余裕教室等を活用し、地域の人たちや保護者等のボランティアの協力により実施している「放課後子ども教室」の中で、スポーツ活動への取組みの拡充を促進します。

施策1-2 誰もがそれぞれのトップレベルを目指せる環境をつくる

事業名	事業概要
① アスリートの支援	本市ゆかりのトップアスリート支援制度及び次世代アスリート支援制度により、アスリート自身のモチベーション向上や競技生活の継続支援を図ります。
② 種目別大会の開催	千葉市スポーツ協会加盟のスポーツ競技団体と連携を図り、競技力の向上を目的とした競技大会やスポーツの普及振興を目的としたスポーツ教室を共催して、開催します。また、他市と連携した大会の開催を促進します。
③ 市民総合スポーツ大会の開催	千葉市スポーツ協会と連携し、スポーツの普及、競技力の向上を目的とした競技大会を共催します。
④ 障害者スポーツ大会の開催	身体障害者スポーツ大会（身体）・ゆうあいピック（知的）・精神障害者バーボール大会（精神）等を開催します。
⑤ 県民体育大会への選手などの派遣	千葉県、千葉県教育委員会、千葉県体育協会が行う県民体育大会への選手の派遣を支援します。
⑥ 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣	全国障害者スポーツ大会に出場する千葉市選手団を選考、派遣します。
⑦ 車いすバスケットボールナショナルトレーニングセンター（N T C）の運営	スポーツ庁からN T Cに指定された千葉ポートアリーナにおいて、車いすバスケットボール日本代表の強化合宿を実施し、国際競技力強化に貢献します。
⑧ 教育・文化・スポーツ等功労者褒賞	教育・文化・スポーツ等の分野において、全国規模以上の大会などで優れた成績をおさめた者の功績を讃え、褒賞します。
⑨ 市ゆかりのアスリート・チームのPR	本市ゆかりのトップアスリート・チームの活躍を知ることにより、スポーツの楽しさを知り、生涯にわたってスポーツを実践する意欲の高揚を図るため、広く市民に情報を提供していきます。
⑩ ジュニアスポーツ大会の開催	ジュニアスポーツ大会を千葉市スポーツ推進委員連絡協議会の運営協力により開催します。
⑪ 千葉市長旗争奪ミニサッカー大会の開催	公益財団法人千葉市スポーツ協会が主催する千葉市長旗争奪ミニサッカー大会を共催して、開催します。

事業名	事業概要
⑫ 千葉ポートアリーナ杯争奪ミニバスケットボール大会の開催	公益財団法人千葉市スポーツ協会が主催する千葉ポートアリーナ杯争奪ミニバスケットボール大会を共催して、開催します。
⑬ 千葉市長杯争奪学童野球選手権大会の開催	公益財団法人千葉市スポーツ協会が主催する千葉市長旗争奪ミニサッカー大会を共催して、開催します。
⑭ 千葉市少年スポーツ連盟中央大会の開催	千葉市少年スポーツ連盟と連携し、少年スポーツ活動の振興と親睦を図ることを目的とした競技大会を共催して、開催します。
⑮ 中学校体育大会事業	中学校体育大会(総合体育大会・新人スポーツ大会)を開催し、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力を育てます。
⑯ 中学校選手派遣費補助事業	総合体育大会において市の大会の上位チーム(個人)に対して、上部大会への旅費等を補助することで、より広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な生徒を育成します。
⑰ 小学校各種体育大会等事業	小学校各種体育大会・発表会(陸上大会・球技大会・表現運動発表会)を開催し、運動やスポーツに関心を持たせ、体力の向上や体力づくりの日常化をめざします。

施策1-3 誰もがスポーツを続けられるための安全や安心をつくる

事業名	事業概要
① 学校体育施設開放事業における空調設備の活用	学校体育施設利用登録団体が、空調設備を備えた学校でその設備を利用できるようにします。
② スポーツ障害などの予防の啓発	日常のスポーツ・レクリエーション活動における障害などを防止するため、その予防方法などの啓発活動に取り組みます。
③ スポーツ医・科学の活用体制の構築	スポーツ医・科学の活用を推進するため、スポーツドクターや大学などと連携・協働した体制の構築に努めます。
④ スポーツに関する安全・安心講習の実施	スポーツ指導者を対象に、パワーハラスメントやセクシュアルハラスメント防止に関する講習会を開催し、誰もが安心してスポーツに取り組める環境づくりを推進します。
⑤ 千葉市スポーツコーチャーの資質向上	スポーツコーチャーを対象として講習会を開催し、スポーツにおける指導方法の向上、スポーツ障害や健康管理についての知識の習得を図ります。
⑥ スポーツ施設管理事業	市民が安心してスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、施設の管理・運営に努めます。

施策 2-1 誰もがスポーツに親しめる機会をつくる

事業名	事業概要
① スポーツ・レクリエーションの情報提供	スポーツ・レクリエーション情報について、ちば市政だより、千葉市公式ホームページやXなどの各種広報媒体により積極的かつ効果的に情報を提供します。また公益財団法人千葉市スポーツ振興財団が行うインターネット事業について、必要な支援を行います。
② 多世代参加型スポーツ・レクリエーションの推進	地域の連帯感を醸成するために、多世代が参加できるスポーツ・レクリエーション大会やイベントに取り組みます。
③ スポーツ・レクリエーション用具の貸出	グラウンドゴルフやインディアカなどのニュースポーツに一層親しめるようするため、スポーツ・レクリエーションの用具の貸出を行います。
④ スポーツ・レクリエーション祭の開催	千葉市スポーツ・レクリエーション祭を実行委員会と共に開催します。
⑤ 地区スポーツ・レクリエーション行事の開催	地区スポーツ・レクリエーション行事をスポーツ振興会と共に開催します。
⑥ 市民体育祭兼地区体育祭の開催	市民体育祭兼地区体育祭を各地区スポーツ（社会体育）振興会と共に開催します。
⑦ 家庭バレーボール大会の開催	家庭バレーボール大会を千葉市スポーツ推進委員連絡協議会の運営協力により開催します。
⑧ パラスポーツフェスタちばの開催	障害の有無に関わらず皆で楽しめるパラスポーツの体験イベントを開催します。
⑨ オープンボッチャ大会の開催	障害の有無に関わらず皆で楽しめるボッチャ大会を開催します。
⑩ 親子体操教室	幼児期の子どもの発達に必要な運動を親子で体験できる教室を開催し、親子のスキンシップを図れる場を提供できるよう、取り組みます。
⑪ チャレンジ運動講習会	市民の運動習慣の定着を図るために、事業所や自治会等を対象に運動トレーナーによる出前講座を実施します。
⑫ スポーツ教室の開催	ウォーキング、健康体操、ランニング等、近年人気が高まっている種目のスポーツ教室を開催するほか、講師に学校訪問事業を行っているトップスポーツチームのコーチや選手などを招く等で参加率を高めるよう取り組みます。
⑬ ウォーキング活動の支援	市内ウォーキングコースの紹介や、コースへ距離サイン、消費カロリーなどがわかる掲示をするなど、市民のウォーキング活動を支援します。
⑭ アーバンスポーツの振興	アーバンスポーツ普及活動への支援や、イベントの開催・支援に取り組むとともに、普及状況に応じた環境整備を検討します。
⑮ ちばしパラスポーツコンシェルジュの開設	障害の種類・程度に応じたスポーツの紹介やサークル活動へのマッチングを行います。
⑯ パラスポーツ教室	障害のある方を対象としたスポーツ教室を開催します。
⑰ パラスポーツ振興補助金	障害者を対象としたスポーツ・運動等の教室や体験会の開催を助成します。
⑱ パラスポーツ競技用具の貸し出し	スポーツ振興基金を活用し、千葉市内6区の拠点スポーツ施設を中心に競技用車いす、ボッチャ、シッティングバレー、ゴールボールの用具を整備し、市民に無料で貸し出します。

事業名	事業概要
⑯ トップスポーツとの連携推進	本市ゆかりのトップスポーツチームと連携し、観戦機会の創出を図ります。
⑰ 海洋スポーツ振興事業	公益財団法人千葉市スポーツ協会が実施する海洋スポーツ振興事業について、当協会を所管する立場から必要な支援を行います。
⑱ ASOBINISTA FESTA の開催	公益財団法人日本サッカー協会との包括連携協定に基づき、「体を楽しく動かして遊ぶ機会を創出しよう」をコンセプトに、さまざまな種目を体験して遊ぶことができるイベントを共催します。
⑲ e スポーツの活用促進	e スポーツイベントの誘致や開催支援、こどもや若者に対する人材育成の支援、e スポーツの活用による高齢者の生きがいづくりに取り組みます。
⑳ 緑、水辺を活かしたスポーツ大会の開催支援	いなげの浜で開催したジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉 2020 の成功を受け、会場を隣接する検見川の浜、幕張の浜まで拡大するほか、市民参加型のビーチスポーツ大会の開催を支援します。
㉑ 千葉シティトライアスロン大会の開催支援	市民がスポーツに参加する機会を確保するため、千葉シティトライアスロン大会の開催を支援します。
㉒ 移動教室	本市小学校5年生に、自然環境を生かした学習体験を積ませるとともに、集団生活を通して子どもたち相互の心の交流を図ります。
㉓ 放課後子ども教室推進事業	放課後に小学校の校庭や体育館、余裕教室等を活用し、地域の人たちや保護者等のボランティアの協力により実施している「放課後子ども教室」の中で、スポーツ活動への取組みの拡充を促進します。
㉔ 青少年育成委員会事業	青少年育成委員会の活動の中で、スポーツ・レクリエーション活動を推進していきます。
㉕ 青少年相談員事業	青少年相談員の活動の中で、スポーツ・レクリエーション活動を推進していきます。
㉖ スポーツ交流の周知	ちば市政だよりに掲載されるような各種スポーツイベントについて、外国人市民に、やさしい日本語を含む多言語で紹介します。
㉗ ホームタウンの推進	市民に感動と彩りを届け、千葉市への愛着を育むとともに、スポーツ振興や地域活性化を進めるため、市民デー開催などホームタウンチームと連携した事業を実施します。
㉘ 総合型地域スポーツクラブの支援	市内の総合型地域スポーツクラブに対し、情報提供などの支援を行います。

施策 2-2 スポーツの未来を紡ぐ

事業名	事業概要
① 部活動地域展開	少子化のなかでも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に触れ合う機会を確保するため、中学校の部活動改革に取り組みます。
② 部活動地域展開に関する人材育成	部活動改革が進展していく中であっても、引き続き中学生が安全安心に活動できる環境を構築するために、必要となる人材育成に取り組みます。
③ 中学校運動部活動複数校合同実施	部員数が少なく円滑な運動部活動の実施が困難であると思われる千葉市立中学校が、学校相互の協力体制により複数校合同の運動部活動を行い、生徒が希望する運動部活動を保障します。
④ 放課後子ども教室推進事業	放課後に小学校の校庭や体育館、余裕教室等を活用し、地域の人たちや保護者等のボランティアの協力により実施している「放課後子ども教室」の中で、スポーツ活動への取組みの拡充を促進します。
⑤ 子どもたちの森公園運営事業	子どもが自由な発想でのびのびと遊ぶことができる場所として、子どもたちの森公園を常設型のプレーパークとして運営します。
⑥ 少年自然の家管理運営	子どもたちによる生活体験、自然体験、共同宿泊体験などの教育的体験活動を行う場として、長生郡長柄町の県立笠森鶴舞自然公園内に整備した少年自然の家の管理運営を行います。
⑦ 移動教室	本市小学校5年生に、自然環境を生かした学習体験を積ませるとともに、集団生活を通して子どもたち相互の心の交流を図ります。
⑧ 青少年育成委員会事業	青少年育成委員会の活動の中で、スポーツ・レクリエーション活動を推進していきます。
⑨ 青少年相談員事業	青少年相談員の活動の中で、スポーツ・レクリエーション活動を推進していきます。
⑩ ふれあいパスポート事業	市内在住・在学の小学生・中学生を対象に、「ふれあいパスポート」(以下、「ふれパス」という。)を配布し、指定されたスポーツ施設で「ふれパス」を提示すると、無料または割引料金で利用できるようにします。また、本市をホームタウンとするプロスポーツチームの試合を開催する市内施設で「ふれパス」を掲示すると、無料または割引料金で試合観戦ができるようにし、子どもたちの学校外活動を支援します。
⑪ 小学校各種体育大会等事業	小学校各種体育大会・発表会(陸上大会・球技大会・表現運動発表会)を開催し、運動やスポーツに関心を持たせ、体力の向上や体力づくりの日常化をめざします。
⑫ 中学校体育大会事業	中学校体育大会(総合体育大会・新人スポーツ大会)を開催し、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力を育てます。
⑬ 新体力テストの実施	児童生徒の体力・運動能力の現状を多面的に把握するとともに、児童生徒の体力向上のための資料とし、指導などの改善に役立てます。
⑭ 中学校運動部活動指導者派遣事業	専門的な指導力を備えた指導者を必要とする学校に対し、部活動指導員・民間指導者を派遣し、技能・体力を向上させ、健康の増進を図るとともに、明るく豊かで活力のある生徒を育成します。

事業名	事業概要
⑯ 学校体育実技指導協力者派遣事業	小学校・中学校の体育の授業において、指導協力者を派遣し、教員が行う実技指導に協力し、児童生徒に対しての補助指導をすることにより、教職員の指導力の向上を図ります。
⑰ 研究学校指定事業	教育課程解明のため、研究学校を指定し、教育活動全般の研究を行い、研究発表会や実践報告集の作成を通して課題解決の促進を図ります。
⑱ 要請・計画訪問による指導・助言	小学校・中学校を訪問し、体育・保健体育の授業を参観した後に、協議会で授業の改善の方向や体育学習の考え方や進め方を確認し、今後の授業に生かすようにします。
⑲ 中学校選手派遣費補助事業	総合体育大会において市の大会の上位チーム（個人）に対して、上部大会への旅費等を補助することで、より広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な生徒を育成します。
⑳ トップスポーツふれあい交流事業の実施	市内小中学校を対象に、本市ゆかりのトップスポーツチームやトップアスリートトップ選手と直接触れ合う機会を提供することで、スポーツの楽しさを体感します。
㉑ パラアスリート学校訪問	パラスポーツや障害者の理解を深めるため、パラアスリートが学校を訪問し、講話や競技体験を通じて交流します。
㉒ 千葉市スポーツコーチャーの派遣	小学校・中学校から依頼があった場合に、スポーツコーチャーの紹介をします。
㉓ プール管理補助員派遣事業	水泳指導期間中、児童の水泳指導における教員等指導者のプール管理等の補助を目的とし、補助員を派遣し水泳指導を充実させます。
㉔ 千葉市少年スポーツ連盟の活動支援	学校教育の場以外で、子どもがスポーツに親しみ、心身ともに健全に成長できるよう、千葉市少年スポーツ連盟の活動を支援します。
㉕ 千葉市スポーツ少年団の活動支援	学校教育の場以外で、子どもがスポーツに親しみ、心身ともに健全に成長できるよう、千葉市スポーツ少年団の活動を支援します。
㉖ 千葉市少年スポーツ連盟中央大会の開催	千葉市少年スポーツ連盟と連携し、少年スポーツ活動の振興と親睦を図ることを目的とした競技大会を共催して、開催します。
㉗ ジュニアスポーツ大会の開催	ジュニアスポーツ大会を千葉市スポーツ推進委員連絡協議会の運営協力により開催します。
㉘ 千葉市長旗争奪ミニサッカー大会の開催	公益財団法人千葉市スポーツ協会が主催する千葉市長旗争奪ミニサッカー大会を共催して、開催します。
㉙ 千葉ポートアリーナ杯争奪ミニバスケットボール大会の開催	公益財団法人千葉市スポーツ協会が主催する千葉ポートアリーナ杯争奪ミニバスケットボール大会を共催して、開催します。
㉚ 千葉市長杯争奪学童野球選手権大会の開催	公益財団法人千葉市スポーツ協会が主催する千葉市長旗争奪ミニサッカー大会を共催して、開催します。

施策 2-3 スポーツ活動を支える組織・人材の支援と、活躍の機会づくりを進める

事業名	事業概要
① 各種講習会・研修会	各種講習会や研修会を通して、新しい教育の情報を取り入れたり技能を身につけたりして、教員の指導力を高めます。
② 公認スポーツ指導者の育成	指導者としての資質向上・資格取得をめざす市民に対して、千葉県と連携し、指導者の育成を促進します。
③ スポーツ指導者講習会の実施	市内スポーツ団体関係者対象に研修の機会を設けます。
④ パラスポーツ指導員の養成	障害のある方へのスポーツ・レクリエーションの振興・普及を通じて、その健康の維持・増進や社会参加を進めるために、専門的な知識や技能を身につけた指導者の養成及び資質、指導力の向上を図ります。
⑤ 千葉市スポーツ推進委員の資質向上	家庭バレーボール大会、地区体育祭、少年球技大会、地区スポーツ教室等において、スポーツ推進委員各自が指導力を向上させ、大会や教室におけるルール等の共通理解を図るための講習会を開催します。
⑥ 千葉市スポーツコーチャーの資質向上	千葉市スポーツ指導者講習会を開催し、スポーツにおける指導方法の向上、スポーツ障害や健康管理についての知識の習得を図ります。
⑦ 千葉市スポーツ協会の活動支援	市民のスポーツ競技力の向上とスポーツの普及振興が図れるよう、千葉市スポーツ協会の活動を支援します。
⑧ 総合型地域スポーツクラブの支援	市内の総合型地域スポーツクラブに対し、情報提供などの支援を行います。
⑨ 千葉市スポーツ推進委員連絡協議会の活動支援	千葉市スポーツ推進委員連絡協議会が開催している区スporte・レク祭、講習会などを支援します。
⑩ 千葉市スポーツ振興会連絡協議会の活動支援	千葉市スポーツ振興会連絡協議会が開催している区対抗グラウンドゴルフ大会や情報交換会などの活動を支援します。
⑪ 千葉市スポーツ功労者表彰	本市内の地域社会又は職場における体育の健全な普及・発展に貢献し、本市の振興に顕著な功績をあげられた者を表彰します。
⑫ 千葉県パラスポーツ指導者協議会との連携	パラスポーツ指導員を統括する指導者協議会と連携し、パラスポーツ指導員の活動を支援します。
⑬ 大学連携によるパラスポーツの担い手育成	大学と連携し、学生がパラスポーツに触れる機会を創出し、将来のパラスポーツの担い手を育成します。
⑭ チーム千葉ボランティアネットワークの活用	ウェブサイト上でボランティア活動や研修会情報を発信する「チーム千葉ボランティアネットワーク」を活用し、市民のボランティア活動を支援します。
⑮ 千葉市少年スポーツ連盟の活動支援	学校教育の場以外で、子どもがスポーツに親しみ、心身ともに健全に成長できるよう、千葉市少年スポーツ連盟の活動を支援します。
⑯ 千葉市スポーツ少年団の活動支援	学校教育の場以外で、子どもがスポーツに親しみ、心身ともに健全に成長できるよう、千葉市スポーツ少年団の活動を支援します。

事業名	事業概要
⑯ 青少年育成委員会事業	青少年育成委員会の活動の中で、スポーツ・レクリエーション活動を推進していきます。
⑰ 青少年相談員事業	青少年相談員の活動の中で、スポーツ・レクリエーション活動を推進していきます。
⑲ 部活動地域展開に関する人材育成	部活動改革が進展していく中であっても、引き続き中学生が安全安心に活動できる環境を構築するために、必要となる人材育成に取り組みます。
⑳ 学校体育実技指導協力者派遣事業	小学校・中学校の体育の授業において、指導協力者を派遣し、教員が行う実技指導に協力し、児童生徒に対しての補助指導をすることにより、教職員の指導力の向上を図ります。
㉑ シニアリーダー養成講座	介護予防の重要性や介護予防に繋がる生活習慣についての知識を学び、運動指導の技術を習得する講座を行うとともに、修了者が地域で介護予防に資する住民主体の通いの場（シニアリーダー体操教室）を立ち上げ、運営をできるよう支援することで、介護予防の推進を図ります。
㉒ ホームタウンの推進	市民に感動と彩りを届け、千葉市への愛着を育むとともに、スポーツ振興や地域活性化を進めるため、市民デー開催などホームタウンチームと連携した事業を実施します。
㉓ 緑、水辺を活かしたスポーツ大会の開催支援	いなげの浜で開催したジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉2020の成功を受け、会場を隣接する検見川の浜、幕張の浜まで拡大するほか、市民参加型のビーチスポーツ大会の開催を支援します。
㉔ 千葉シティトライアスロン大会の開催支援	市民がスポーツに参加する機会を確保するため、千葉シティトライアスロン大会の開催を支援します。
㉕ 国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援	スポーツを活用した地域活性化を図るため、経済効果やパブリシティ効果の高い国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援を行います。
㉖ 千葉市スポーツコーチャーの派遣	小学校・中学校から依頼があった場合に、スポーツコーチャーの紹介をします。

施策 3-1 スポーツにより市民が健康とつながる

事業名	事業概要
① 職場における健康づくりの普及啓発	本市における地域保健及び職域保健を担う組織の連携により働き盛り層の生活習慣病等の予防と生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を図るため、地域における関係機関との情報提供及び課題等の協議を実施する会議を開催します。
② 高齢者向けの健康づくりなどの情報提供	介護予防のためのパンフレット「いきいきあんしん生活の秘訣」などにより、高齢期における運動機能維持・向上の意識啓発に努めます。
③ 健康づくりスポーツ教室の開催	市民の生活習慣改善の動機づけ・健康づくりを推進することを目的に、スポーツと健康をより深く関連づけた健康づくりのための教室を開催します。
④ プロスポーツチームから学ぶ健康づくり教室	プロのサッカーチーム・野球チームのトレーナーなどが講師となり、スポーツ選手が行っている体操などを高齢者向けにアレンジした軽運動を実施し、体力づくりのノウハウを提供します。
⑤ シニアリーダー養成講座	介護予防の重要性や介護予防に繋がる生活習慣についての知識を学び、運動指導の技術を習得する講座を行うとともに、修了者が地域で介護予防に資する住民主体の通いの場（シニアリーダー体操教室）を立ち上げ、運営をできるよう支援することで、介護予防の推進を図ります。
⑥ 民間のフィットネス事業への支援	民間のフィットネス事業者の実施する体験教室等に対し、広報などの支援を行い、市民の積極的な健康づくりを推進します。
⑦ 全国健康福祉祭の選手派遣	高齢者のスポーツの祭典である全国健康福祉祭に千葉市選手団を派遣することで、健康の保持・増進、社会参加や生きがいづくりを進めます。
⑧ 大学と連携したスポーツや健康の研究	大学と連携してスポーツや健康に関する研究を行い、市民・スポーツ団体等への技術指導や、次世代アスリートの育成支援を行うことを検討します。

施策 3-2 スポーツにより多様な立場の市民がつながる

事業名	事業概要
① ユニバーサルスポーツの推進	障害の有無に関わらず皆で楽しめるスポーツを推進します。
② パラスポーツの普及・啓発	パラスポーツを多くの市民に知ってもらうため、体験会の開催や大会・イベントの誘致・開催を行います。
③ 障害者とのスポーツ交流の機会創出	千葉市スポーツ協会傘下の競技団体と協力し、市民大会などで障害者と健常者が同じ競技を楽しんだり、同じ会場で大会を開催する機会を創出し、相互理解の促進に努めます。
④ スポーツ交流の周知	ちば市政だよりに掲載されるような各種スポーツイベントについて、外国人市民に、やさしい日本語を含む多言語で紹介します。
⑤ 長柄げんきキャンプ	小中特別支援学級・特別支援学校の子どもたちに、親元を離れて様々な体験活動を経験させ、自主性や豊かな心をはぐくみます。また、児童生徒同士の交流を通して、社会性をはぐくみます。
⑥ 長柄ジョイントキャンプ	豊かな自然環境の中で、様々な体験活動を通して、不登校児童生徒の自主性・社会性をはぐくみ、学校生活への復帰や社会的自立を手助けします。

事業名	事業概要
⑦ 長柄ハッピーキャンプ	ADHD 等のために多動で落ち着きがない子どもや対人関係が苦手な子どもを対象に、宿泊による集団生活を行い、ソーシャルスキルを身につけ社会性を育てます。
⑧ 障害者スポーツ大会等の開催、千葉市代表選手団の派遣	千葉市ゆうあいピック(知的)・身体障害者スポーツ大会（身体）・精神障害者バレーボール大会（精神）等を開催するほか、全国障害者スポーツ大会に千葉市代表選手団の派遣などを行います。
⑨ スポーツフェスタ	教育支援センター及びグループ活動間の交流を深め、ジョイントキャンプへの意欲化につなげると共に、スポーツを通じ、各教育支援センター・グループ活動の団結を図ります。
⑩ パラスポーツを支える人の育成	指導者や支援者・ボランティアなど、パラスポーツを支える人材を増やし、育成します。
⑪ パラスポーツ推進に係るネットワークの充実	福祉や医療、健康、教育など、様々な分野に関連するパラスポーツの横連携を強化するため、ネットワークの充実を図ります。
⑫ パラスポーツの地域での展開・環境づくり	障害のある人が身近な地域でスポーツを楽しむことができる環境づくりを進めます。
⑬ パラスポーツ指導員の養成	障害のある方へのスポーツ・レクリエーションの振興・普及を通じて、その健康の維持・増進や社会参加を進めるために、専門的な知識や技能を身につけた指導者の養成及び資質、指導力の向上を図ります。
⑭ 千葉県パラスポーツ指導者協議会との連携	パラスポーツ指導員を統括する指導者協議会と連携し、パラスポーツ指導員の活動を支援します。
⑮ 大学連携によるパラスポーツの担い手育成	大学と連携し、学生がパラスポーツに触れる機会を創出し、将来のパラスポーツの担い手を育成します。
⑯ パラアスリート学校訪問	パラスポーツや障害者の理解を深めるため、パラアスリートが学校を訪問し、講話や競技体験を通じて交流します。
⑰ ちばしパラスポーツコンシェルジュの開設	障害の種類・程度に応じたスポーツの紹介やサークル活動へのマッチングを行います。
⑱ パラスポーツ教室	障害のある方を対象としたスポーツ教室を開催します。
⑲ パラスポーツ振興補助金	障害者を対象としたスポーツ・運動等の教室や体験会の開催を助成します。
⑳ パラスポーツ競技用具の貸し出し	スポーツ振興基金を活用し、千葉市内 6 区の拠点スポーツ施設を中心に競技用車いす、ボッチャ、シッティングバレー、ゴールボールの用具を整備し、市民に無料で貸し出します。

施策 3-3 スポーツが地域の活性化につながる

事業名	事業概要
① ホームタウンの推進	市民に感動と彩りを届け、千葉市への愛着を育むとともに、スポーツ振興や地域活性化を進めるため、市民デー開催などホームタウンチームと連携した事業を実施します。
② アルティーリ千葉新アリーナの整備支援	「アルティーリ千葉」の本拠地としてだけでなく、スポーツや文化の振興拠点としても市民に親しまれ、地域の魅力を高め、まちづくりの拠点となることを目指し、新アリーナの整備支援を行います。
③ 千葉マリンスタジアムの再構築	幕張豊砂駅に近接し、周辺の大規模商業施設や幕張メッセとの相乗効果を生み出すことができる幕張メッセ駐車場に、幕張新都心の新たなまちづくりの拠点となるスタジアムを再構築します。
④ ZOZO マリンスタジアム（千葉マリンスタジアム）の改修	施設の計画的な維持管理を行い、利用者の安全性を確保するとともに、千葉ロッテマリーンズの本拠地としてプロスポーツの基準等に即した質の高い競技フィールドを維持します。
⑤ 蘇我スポーツ公園スポーツ施設の改修	施設の計画的な維持管理を行い、利用者の安全性を確保するとともに、フクダ電子アリーナ（蘇我球技場）については、ジェフユナイテッド市原・千葉の本拠地としてプロスポーツの基準等に即した質の高い競技フィールドを維持します。
⑥ 緑、水辺を活かしたスポーツ大会の開催支援	国内最大級のビーチスポーツの祭典「ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉」や、種目別のビーチスポーツ大会の開催を支援します。
⑦ 千葉シティトライアスロン大会の開催支援	市民がスポーツに参加する機会を確保するため、千葉シティトライアスロン大会の開催を支援します。
⑧ 国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援	スポーツを活用した地域活性化を図るため、経済効果やパブリシティ効果の高い国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援を行います。また、大規模スポーツ大会開催にあたり、市民や民間団体、大学等と連携し、地域活性への取り組みや効果測定を行います。
⑨ スポーツツーリズムの推進	国際・全国的スポーツ大会の誘致を促進するため、スポーツ施設の優先確保や補助制度創設、スポーツコミッショナリ設立の検討を進めます。

4 アンケート調査

(1) 調査要綱および実施概要

調査目的

「千葉市スポーツ推進計画」の策定にあたり、市民のスポーツ活動の実態やニーズを把握し、その基礎資料とし、計画に反映させることを目的とする。

調査対象

下表のとおり。

調査名		調査対象
① 市民		市内在住の 18 歳以上 79 歳までの男女（無作為抽出）
② 児童生徒	(ア) 小学生	市内 12 校の小学生
	(イ) 中学生	市内 16 校の中学生
	(ウ) 高校生	市内 2 校の高校生

調査方法

調査方法： ①市民：郵送配布/郵送またはインターネット回収

②児童生徒：協力依頼した学校において配布・回収

調査期間： ①令和 6 年 12 月 25 日（水）～令和 7 年 1 月 15 日（水）

※令和 7 年 2 月 6 日（木）にお礼状兼督促状を送付し

令和 7 年 3 月 5 日（水）まで受付延長

②令和 7 年 2 月

調査名		配布数	回収数	回収率
① 市民		1,200 件	396 件	33.0%
② 児童生徒	(ア) 小学生		591 件	
	(イ) 中学生		1,008 件	
	(ウ) 高校生			

※前回令和元年度実施 397 件 回収率 33.1%

(2) 総括

■ スポーツ実施状況

- 実施率：市民のスポーツ実施率は週 1 日以上が 60.1%、週 3 日以上が 29.3%である。一方で、12.4%の市民が全く運動・スポーツを行っていない。
- 1 回当たりの活動時間：30 分以上～60 分未満が 31.4%と最も多く、次いで 60 分以上～90 分未満が 18.5%、90 分以上が 21.2%となっている。
- 実施状況の分布：87.2%が実施しており、その中で定期的に実施しているのは 48.9%、不定期に実施しているのは 38.3%である。一方、非実施者は 12.8%で、そのうち今後もするつもりがないと回答した人は 4.6%、始めたいという思いがある人は 8.2%である。
- 実施形態：スポーツは個人で行う人が 68.1%と最も多く、次いで家族と行う人が 24.7%、地域の友人と行う人が 16.3%となっている。
- 実施時間帯：スポーツを行う時間帯は、平日、土日祝日ともに午前中が最も多く、次いで夕方、昼間となっている。
- スポーツしない理由：スポーツをしない理由としては、「仕事や家事で時間がないから」が 51.1%と最も多く、次いで「年をとったから」が 29.8%、「お金に余裕がないから」が 19.1%となっている。

■ スポーツ実施への支出

- スポーツ実施に 1 ヶ月あたり 1,000 円未満しか支出しない人が 24.1%、1,000 円以上 3,000 円未満が 23.8%であり、支出しない人が約半数を占める。一方で、10,000 円以上支出する人も 12.0%いる。

■ スポーツ実施の目的

- スポーツを行う目的は、「健康維持・増進」が 80.4%と最も高く、次いで「ストレス解消・気分転換」が 42.8%、「ダイエット」が 28.3%となっている。

■ スポーツ実施場所

- スポーツを行う場所は、「自宅またはその周辺」が 58.1%と最も多く、次いで「道路や遊歩道」が 42.2%、「広場や公園」が 23.5%となっている。

■ スポーツ実施によるコミュニティの広がり

- スポーツがきっかけでコミュニティが広がったと感じる人は 49.5%であり、そのうち「とてもそう思う」が 11.7%、「そう思う」が 19.6%、「どちらかといえばそう思う」が 18.3%である。

地域スポーツへの参加

- 地域スポーツへの参加経験がある人は 35.7%、参加意向がある人は 36.7%である。一方で、参加したことがない、今後も参加したくないと考えている人が 64.3%いる。

公共スポーツ施設の利用

- 公共スポーツ施設の質に「満足している」と回答した人は 66.6%、「不満がある」と回答した人は 18.1%である。
- 公共スポーツ施設の数について、「十分整備されている」と回答した人は 12.5%、「ある程度整備されている」と回答した人は 56.9%、「不足している」または「やや不足している」と回答した人は 29.2%である。
- 公共スポーツ施設への要望としては、「施設の設備や用具を充実させてほしい」が 33.3%と最も多く、次いで「利用料金を安くしてほしい」が 28.0%、「利用手続きを簡単にしてほしい」が 26.7%となっている。

民間スポーツ施設の利用

- 民間スポーツ施設を利用する理由は、「身近に施設があるから」が 63.5%と最も多く、次いで「設備が充実しているから」が 45.9%、「利用手続きが簡単だから」が 28.4%となっている。
- 利用する民間施設の種類は、「トレーニング施設」が 45.9%と最も多く、次いで「ゴルフ場（打ちっぱなし含む）」が 27.0%、「プール」と「ヨガ・ピラティス」が 8.1%となっている。

スポーツボランティア

- 参加率:スポーツボランティアの参加率は 14.2%であり、85.8%の人が参加していない。
- 参加意向:スポーツボランティアへの参加意向がある人は 11.8%、ない人は 41.1%、「どちらとも言えない」が 47.1%である。
- 活動内容:スポーツボランティアの活動内容としては、「大会やイベントのお手伝い」が 44.1%と最も多く、次いで「スポーツ活動の付き添い・見守り」が 20.6%、「大会やイベントの企画・運営」が 16.2%となっている。
- 参加条件:スポーツボランティアに参加する条件としては、「出会いや交流が生まれる」が 26.4%と最も多く、次いで「社会貢献になる」が 24.2%、「どんな動機付けがあってもしても良い」が 22.7%となっている。

スポーツ観戦

- 観戦率:スポーツの現地観戦率は32.3%であり、67.7%の人が観戦していない。
- 観戦するスポーツ:最も観戦されるスポーツは「野球」で57.0%、次いで「サッカー」が21.9%、「バスケットボール」が17.2%となっている。
- 観戦頻度:スポーツ観戦の頻度は、「月に1回以上」が5.3%、「3ヶ月に1~2回」が7.9%、「年に1~3回」が24.2%である。
- 観戦理由:スポーツ観戦の理由は、プロスポーツでは「好きなチーム・選手の応援のため」が55.7%、アマチュア・実業団スポーツでは「友人が出場するから」が36.4%、高校・大学スポーツでは「親族が出場するから」が25.8%、中学生以下のスポーツでは「親族が出場するから」が61.1%となっている。
- 観戦意向:スポーツ観戦の意向を高める条件としては、「身近に観戦する機会が多ければ」が59.1%、「チケット（入場料）が安ければ」が42.7%、「時間に余裕があれば」が33.8%となっている。
- 観戦支出:スポーツ観戦への1回あたりの支出額は、1,000円以上3,000円未満が32.8%と最も多く、次いで3,000円以上5,000円未満が29.8%、5,000円以上10,000円未満が15.4%となっている。

プロスポーツへの期待

- プロスポーツへの期待としては、「子どもたちに対する夢や希望の提供」が64.9%と最も高く、次いで「感動や元気の付与」が43.9%、「子どもたちへのスポーツ教室の開催など」が30.3%となっている。
- 市内のプロスポーツチームの認知度は、「千葉ロッテマリーンズ」が95.9%、「ジェフユナイテッド市原・千葉」が81.8%、「千葉ジェッツ」が73.1%である。

コロナ前後の変化

- コロナ禍前後での変化として、スポーツ実施率は28.0%減少し、スポーツボランティア参画率は28.0%減少し、スポーツ観戦率は33.7%減少し、ボランティア意向は25.9%増加した。

スポーツ情報の入手

- スポーツ情報の入手媒体としては、「テレビ・ラジオ」が43.9%と最も多く、次いで「市の広報紙」が33.1%、「新聞・雑誌」が29.3%となっている。
- スポーツ情報ニーズとしては、「体力測定やフォームなど技術について」が31.6%と最も多く、次いで「家族連れで楽しめるスポーツ施設について」が29.8%、「運動処方の計画・実践方法について」が25.3%となっている。

スポーツ振興の効果

- スポーツ振興の効果として、「ストレスが少なくなり、心の健康が増進される」が 52.8%と最も多く、次いで「健康な人が増え医療費が抑制される」が 47.0%、「幸福度が高まる」が 31.1%となっている。

パラスポーツ

- パラスポーツの認知度は、「よく知らないが、関心がある」が 52.1%、「よく知らない、関心がない」が 41.2%、「よく知っていて、関心がある」が 6.7%である。
- パラスポーツへの関心のきっかけとしては、「東京 2020 パラリンピック競技大会」が 48.2%と最も多い。
- パラスポーツへの関心喚起の条件としては、「どんな競技があるか」が 38.8%と最も多く、次いで「どんな選手がいるか」が 19.4%、「パラスポーツ大会開催情報」が 15.6%となっている。

現行計画の施策評価

- 相対的に「安心して活動できる環境づくり・スポーツ障害などの予防の啓発・スポーツ医・科学の活用等」が最も満足度が低く、重要度が高い、喫緊性の高い課題と言える。
- 「スポーツの習慣化に向けた環境づくり・地域スポーツ関係団体の育成・支援・スポーツ教室の開催・スポーツ施設などの場の充実及び効率的な管理運営等」、「学校体育や運動部活動の充実・体育指導の充実・学校体育・運動部活動における指導者等の派遣等」、「スポーツ団体・指導者の育成・スポーツ団体の活動支援・指導者の育成・確保等」、「スポーツを通じたまちづくり・地区スポーツイベントの開催・支援等」も同様の象限に位置する。

まとめ

このアンケート調査結果から、千葉市民のスポーツ実施状況は比較的良好であるが、実施しない理由として時間や経済的な制約があることが示唆されている。また、スポーツ実施者の約半数がスポーツ実施に支出しておらず、支出しても 1 ヶ月あたり 3,000 円未満の人が多いことがわかった。

スポーツ施設については、公共施設と民間施設の両方が利用されており、それぞれに利用理由や要望があることが明らかになった。

スポーツボランティアへの参加率は低いものの、参加意向を示す人も一定数おり、地域スポーツへの参加意向も同様の傾向が見られる。

スポーツ観戦は野球が最も人気であり、プロスポーツに対しては地域貢献や子どもたちへの影響が期待されている。コロナ禍を経て、スポーツ実施率や観戦率は減少したが、ボランティア意向は増加するという変化も見られた。